

入 札 説 明 書

件名：新潟市確定申告書等データエントリー業務

令和 7 年10月

新潟市財務部市民税課

この入札説明書は、政府調達に関する協定（平成7年条約第23号）、地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）、新潟市契約規則（昭和59年新潟市規則第24号。以下「規則」という。）、新潟市物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規則（平成19年新潟市規則第88号。以下「特例規則」という。）、本調達に係る入札公告（以下「入札公告」という。）のほか、本市が発注する調達契約に関し、一般競争に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 競争入札に付する事項

（1） 件名及び数量

新潟市確定申告書等データエントリー業務 一式

（2） 履行の内容等

仕様書のとおり

（3） 履行場所

新潟市財務部市民税課が指定する場所

（4） 契約期間

契約締結の日から令和12年12月31日まで

なお、本件は「複数年にわたる委託契約におけるスライド条項（賃金水準の変動を反映した契約金額の変更）」を適用する。詳細は「別紙 入札にあたっての注意事項」を参照すること。

（5） 入札方法

総価で入札に付する。

入札書に記載する金額は、消費税及び地方消費税に相当する額を含まない単価にそれぞれの予定数量を乗じた金額の合計金額（1円未満の端数切捨て）とし、単価は小数点以下第2位までとすること。

落札者の決定に当たっては、有効な入札書等を提示した者であって、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者を契約の相手方とする。

なお、本業務の契約は一定の期間内における実績数量を単価に乗じて得た金額の対価を支払う単価契約とする。

2 入札に参加する者に必要な資格

（1） 本市の入札参加資格者名簿（業務委託）に登載されている者であること。

（2） 地方自治法施行令第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。

（3） 新潟市競争入札参加資格者指名停止等措置要領の規定に基づく指名停止措置を受けていない者であること。

（4） 「プライバシーマークの認定」又は「情報セキュリティマネジメントシステム（I

SMS) の認定」を受けている者であること。

3 問合せ先

新潟市財務部市民税課

郵便番号 951-8554

新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル3階

電話 025-226-2253

E-mail shiminzei.to@city.niigata.lg.jp

4 競争入札参加申請等

(1) 入札参加者は、一般競争入札参加申請書(別記様式第1号)に秘密保持誓約書(別記様式第2号)を添えて、令和7年11月21日(金)午後5時までに上記3の場所に持参又は郵送(書留郵便に限る。)にて提出しなければならない。

持参する場合の受付時間は、市役所開庁日の午前9時から午後5時までとし、郵送する場合は、後日、本市が郵送物を対面で受け取ったことが確認できる方法に限る。

また、提出された書類に関し説明を求められた場合は、随時それに応じなければならない。

(2) 競争入札参加申請後に入札参加を辞退するときは、その旨を入札参加辞退届(別記様式第7号)で届け出ること。

(3) 競争入札参加資格確認結果については、上記4(1)により提出された書類に基づく審査の上入札参加資格の有無を決定し、令和7年12月2日(火)までに一般競争入札参加資格確認結果通知書を発送する。

5 入札保証金

規則第10条による。

6 入札及び開札

(1) 入札及び開札の日時、場所

令和7年12月11日(木)午前10時00分

新潟市役所ふるまち庁舎3階 301会議室

新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル3階

(2) 郵送による入札書等の提出期間及び提出先

令和7年12月2日(火)から令和7年12月10日(水)午後5時までに上記3の場所へ提出すること(書留郵便に限る)。

(3) 入札参加者又はその代理人は、別添の仕様書、契約書(案)及び規則を熟知の上、入札をしなければならない。

また、仕様書等について疑義がある場合は、質疑回答書（別記様式第3号）を令和7年11月13日（木）午後5時までに上記3の場所へE-mailにより提出すること。

回答は質疑回答書（別記様式第3号）に記載したE-mailに随時行う。

なお、公然にすべきと本市が判断した質疑は、質疑した者を特定できる情報を伏せた上で、回答と合わせて本市ホームページに掲載する。

- (4) 入札参加者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札参加者の代理人となることができない。
- (5) 入札の場所は、入札参加者又はその代理人以外の者は入室することができない。
ただし、入札担当職員が特にやむを得ない事情があると認めた場合は、付添人を認めることがある。
- (6) 入札参加者又はその代理人は、入札開始時刻後においては入札の場所に入室することができない。
- (7) 入札参加者又はその代理人は、入札の場所に入室しようとするときは、入札担当職員に上記4（3）により入札参加資格有と通知された一般競争入札参加資格確認結果通知書（写し可）、並びに代理人をして入札させる場合においては、入札権限に関する委任状（別記様式第6号）を提出すること。
- (8) 入札参加者又はその代理人は、入札担当職員が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札の場所から退室することはできない。
- (9) 入札参加者又はその代理人は、入札の際次に掲げる事項を記載した入札書（別記様式第4号）を提出しなければならない。

ア 入札参加者の住所、会社（商店）名、氏名及びその押印（外国人にあっては、署名をもって押印に代えることができる。以下同じ。）ただし、代理人が入札する場合は、入札参加者の住所、会社（商店）名、氏名、受任者名（代理人の氏名）及びその押印

イ 入札金額

ウ 履行場所

エ 品名（件名）及び数量

オ 品質・規格

詳細に記載すること。「仕様書のとおり」という記載でも構わない。

- (10) 入札に係る文書に使用する言語は、日本語に限る。

また、入札金額は、日本国通貨による表示とすること。

- (11) 入札書（別記様式第4号）は、封筒に入れて封をし、その封皮に入札日、件名、入札者の商号・名称を記載すること。

郵送の場合は、一般競争入札参加資格確認結果通知書の写しと一緒に、さらに別の封筒に入れ、「入札書在中」と朱書きの上、書留郵便で郵送すること。

なお、加入電信、電報、電話、電子メール等その他の方法による入札は認めない。

- (12) 各種様式への記載は、ペン又はボールペンを使用すること。鉛筆及び消せるボールペンの使用は認めない。

- (13) 入札参加者又はその代理人は、入札書等の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印すること。ただし、入札金額の訂正は認めない。
- (14) 入札参加者又はその代理人は、提出した入札書の引換え、変更、取消しをすることができない。
- (15) 不正の入札が行われるおそれがあると認めるとき、又は災害その他やむを得ない理由が生じたときは、入札を中止し、又は入札期日を延期することがある。
- (16) 談合情報等により、公正な入札が行われないおそれがあると認められるときは、入札を中止し、又は延期し若しくは抽選により入札者を決定するなどの場合がある。
- (17) 開札は、入札参加者又はその代理人が出席して行う。この場合において、入札参加者又はその代理人が立ち会わないときは、当該入札執行事務に関係のない職員を立ち会わせてこれを行う。
- (18) 開札した場合において、有効とする入札のうち予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、上記6(1)の入札及び開札の日時以降に再度の入札を行う。再度入札の方法については、別途指示する。
- また、下記7に該当する無効入札をした者は、再度入札に加わることはできない。
- (19) 再度入札は1回とし、落札者のない場合は地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規程により、再度入札において有効な入札を行った者のうち、最低金額を記載した入札参加者と随意契約の交渉を行うことがある。

7 入札の無効

次の各号に該当する入札は、これを無効とする。

- (1) 入札公告に示した競争に参加する者に必要な資格のない者がした入札又は代理権のない者がした入札
- (2) 入札書等の記載事項中入札金額又は入札者の氏名その他主要な事項が識別しがたい入札
- (3) 入札者が2以上の入札（本人及びその代理人がした入札を合わせたものを含む。）をした場合におけるその者の全部の入札
- (4) 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する不正の行為によった入札
- (5) 公正さを疑うに足りる相当な理由があると認められる入札
- (6) 再度入札において初回の最低入札価格以上の価格で行った入札
- (7) 入札公告等において示した入札書の提出期限までに到着しなかった入札
- (8) 入札書記載の金額を加除訂正した入札
- (9) その他入札に関する条件に違反した入札
- (10) 上記(4)又は(5)に該当する入札は、その入札の全部を無効とすることがある。

8 落札者の決定

- (1) 有効な入札書等を提示した者であって、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者を契約の相手方とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が複数あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合において、当該入札者のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、当該入札執行事務に関係のない職員にこれに代わってくじを引かせ、落札者を決定する。
- (3) 落札者を決定した場合において、落札者とされなかった者から請求があったときは、落札者を決定したこと、落札者の氏名及び住所、落札金額並びに当該請求者が落札者とされなかった理由、並びに当該請求を行った者の入札が無効とされた場合においては無効とされた理由を、速やかに当該請求を行った者に書面により通知するものとする。
- (4) 落札者は、入札金額内訳書（別記様式第5号）を落札決定後ただちに提出しなければならない。

9 契約の停止等

本調達に関し、政府調達に関する苦情処理の手續に基づく苦情申立があったときは、契約を停止し、又は解除することがある。

10 契約保証金

金額は、契約単価に令和7年度分のそれぞれの予定数量を乗じた金額の合計金額の100分の10以上の額とし、現金、銀行が振り出し、若しくは支払い保証した小切手又は無記名の国債若しくは地方債をもって充てることとする。ただし、規則第34条の各号のいずれかに該当する場合は、契約保証金を免除する。

11 契約書の作成

- (1) 契約書を作成する場合においては、落札者は、交付された契約書に記名押印し、落札決定日の翌日から起算して10日以内の間に当該契約を締結しなければならない。ただし、特別の事情があると認めるときは、契約の締結を延期することができる。
- (2) 契約書及び契約に係る文書に使用する言語並びに通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

12 支払いの条件

本契約に係る代金は、本市の検査に合格した後、適正な請求書に基づいて支払う。

13 契約条項

別添の契約書（案）による。

1 4 競争入札参加資格審査申請

第4項第1号で規定する一般競争入札参加申請時に、第2項第1号で示す名簿に登載されておらず、本入札に参加を希望する者は、「政府調達（WTO）契約に係る業務委託入札参加資格審査申請書」を令和7年11月14日（金）までに次の申請先へ提出しなければならない。

申請書類は、新潟市財務部契約課ホームページから取得することができるほか、新潟市財務部契約課で交付する。この場合、入札参加者は、本申請書類の一部である「政府調達（WTO）契約に係る業務委託入札参加資格審査申請受付確認票」の写しを第4項第1号で規定する提出書類に含め、一般競争入札参加申請を行うこととする。

申請（問合せ）先 郵便番号951-8550

新潟市中央区学校町通1番町602番地1

新潟市財務部契約課物品契約係

電話 025-226-2213

http://www.city.niigata.lg.jp/business/keiyaku/keiyaku_top

1 5 その他

- (1) 入札参加申請書の到着確認、入札書の到着確認、入札参加者数及び入札参加者名等の問い合わせには一切応じない。

入札にあたっての注意事項

本件は、「複数年にわたる委託契約におけるスライド条項（賃金水準の変動を反映した契約金額の変更）」を適用する契約です。

最低賃金に一定以上の変動がみられた場合に、2 年目以降の契約金額を変更することができます。

変更金額の算出方法等は、「賃金の変動に基づく契約金額の変更に係る特約条項 第 1 条第 1 項に係る特記仕様書」に定めるとおりです。

※本制度の詳細については、本市ホームページに掲載の「複数年にわたる業務委託へのスライド条項の適用について」をご覧ください。

契約変更にあたっては、委託者と受託者で変更金額等について協議を行います。協議の請求書は、履行開始日から 12 ヶ月経過後（2 回目以降は前回スライドから 12 カ月経過後）以降に提出してください。

新潟市確定申告書等データエントリー業務
委託仕様書

令和 7 年 9 月

新潟市財務部市民税課

目次

- 1. 業務の名称1
- 2. 委託期間1
- 3. 契約形態及び支払い1
- 4. 背景・目的1
- 5. 本業務の内容1
 - 5.1 対象とする帳票等..... 1
 - 5.2 事務の流れ 1
 - 5.3 スケジュール..... 2
 - 5.4 予定数量..... 2
 - 5.5 媒体..... 2
 - 5.6 事前検証..... 2
- 6. 成果物等2
 - 6.1 成果物 2
 - 6.2 納入期限..... 3
 - 6.3 納入場所..... 3
- 7. その他.....3
 - 7.1 委託料の計算..... 3
 - 7.2 ネットワークの利用 3
 - 7.3 機材等 3
 - 7.4 交通費等..... 3
 - 7.5 提言・助言と協力..... 3
- 8. 特記事項4
 - 8.1 法令等の遵守..... 4
 - 8.2 疑義の解釈 4
 - 8.3 業務評価の特記仕様 4
- 9. 問合せ先4

本仕様書は、確定申告書等のデータエントリー業務の委託に関して、新潟市（以下「本市」という。）と受託者との契約履行に必要な事項を定めるものである。

1. 業務の名称

新潟市確定申告書等データエントリー入力業務

2. 委託期間

契約締結の日から令和 12 年 12 月 31 日まで

3. 契約形態及び支払い

令和 7 年度から令和 12 年度までの複数年契約とし、支払いは月毎に行う。

4. 背景・目的

紙媒体で提出された確定申告書等については、データエントリー業務を事業者へ委託し、電子化したデータを新潟市市民税オンラインシステムに取り込んでいるが、現在の契約が令和 8 年 3 月 31 日で満了となることから、新たにデータエントリー業務の調達を行う。

5. 本業務の内容

本業務は、紙で提出された確定申告書等（以下「帳票等」という。）の情報を新潟市市民税オンラインシステムに取り込むため、帳票等の内容をデータ化するものである。

5.1 対象とする帳票等

本業務の対象とする帳票等は「資料 1 入力帳票仕様書」のとおり。

対象とする帳票等の追加又はレイアウト変更等が必要と本市が判断した場合、受託者は本市の指示に従うものとし、これに伴い必要となる費用は受託者が全額負担すること。

なお、令和 7 年度税制改正に伴う変更については資料 1 の記載内容を想定するが、詳細については契約締結後に受託者と協議の上、決定する。

5.2 事務の流れ

事務の流れは「資料 2 事務の流れ」のとおり。

本市と受託者の間で必要となる帳票等及びデータ化した情報を格納した媒体（以下「媒体等」という。）の運搬は受託者が行うものとし、運搬者の氏名及び会社名等を記載した運搬者名簿を事前に提出すること。

運搬は 2 名以上が同行するものとし、帳票等が第三者の目に触れないようにするとともに

に、媒体等は本市が用意するケースに格納して施錠すること。

帳票等又は媒体等を運搬する際には、本市が用意する「エントリー依頼・納品伝票」を記載して添付すること。

5.3 スケジュール

毎月末日の5日前（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項各号に挙げる日を除く。以降、日数に関する記載は同様とする。）までに翌月のスケジュール表を本市から受託者へ提供する。

5.4 予定数量

予定している帳票等の数量は「資料3 予定数量」のとおり。

5.5 媒体

データ化した情報を格納するための媒体は、「資料4 媒体仕様書」から受託者が選択して事前に本市の承認を得るものとし、原則、契約期間を通じて同じ媒体を使用する。

MOを使用する場合は本市が媒体を準備するが、それ以外を使用する場合は受託者が媒体を準備するものとし、その費用は受託者が全額負担すること。

媒体を変更する場合は、事前に本市の承認を得ること。

5.6 事前検証

本番運用を想定した事務運用を事前に検証するため、事前検証用スケジュールに従い、事前検証用データを作成して本市へ納品すること。

事前検証の内容は本市が検証して承認を行うものとし、承認が得られない場合は速やかに修正を行うこと。

事前検証用スケジュール及び事前検証用の帳票等は本市が提供するものとし、詳細については本市と受託者で協議の上、決定する。

なお、事前検証に必要な費用は受託者が全額負担すること。

6. 成果物等

6.1 成果物

媒体等（正・副各1枚）を納品すること。

入力ミスの発生率は2／10000未満を遵守するものとし、ベリファイチェックを実施すること。

データは暗号化して媒体に格納するものとし、パスワードは契約締結後に本市と受託者で協議の上、決定する。

なお、U S Bを使用する場合は自動的に暗号化する機能を搭載しているものとし、データの暗号化は不要とする。

6.2 納入期限

上記 5.3 に記載したスケジュール表に従うこと。

6.3 納入場所

新潟市財務部市民税課が指定する場所

7. その他

7.1 委託料の計算

委託料の計算は「資料 5 委託料の計算」のとおり。

7.2 ネットワークの利用

データ化した情報を本市へ提出する際に L G W A N 等のネットワーク利用を希望する場合、利用方法やセキュリティ対策等について本市に説明し、事前に承認を得ること。

なお、ネットワークを利用した場合であってもデータ化した情報と同日に帳票等を本市へ返却するものとし、これに伴う費用は受託者が全額負担すること。

委託料の計算は「資料 5 委託料の計算」のとおり。

7.3 機材等

受託者は、本業務の推進に必要となる機材等について、本市が準備した機材等以外が必要となる場合、機材等の準備について事前に本市の承認を得た上で、費用は受託者が全額負担すること。

7.4 交通費等

受託者は、本業務の推進に必要となる交通費、食事代及び宿泊費等について、全額負担すること。

7.5 提言・助言と協力

受託者は、必要に応じて本市への提言・助言を行うこと。

提言・助言を行うにあたっては、極力専門用語は用いず、可視化した資料等を用いて本市が容易に理解できるように工夫すること。

8. 特記事項

8.1 複数年にわたる委託契約におけるスライド条項

本業務は、賃金の変動に基づく契約金額の変更に係る特約条項第 1 条第 1 項を適用する契約である。詳細は「資料 6 特記仕様書」のとおり。

8.2 法令等の遵守

受託者は、関係法令並びに本市の条例、規則及び要綱等を十分理解すること。

なお、本市で定める文書管理規定等、本システムに関連する規則類は、本市ホームページ（<https://www.city.niigata.lg.jp/>）の例規集及び要綱集に掲載のとおりである。

8.3 疑義の解釈

疑義が生じたとき又は本仕様書に定めのない事項については、本市及び受託者で協議の上、決定する。

8.4 業務評価の特記仕様

本市は、本業務の契約終了後、受託者の業務内容について、次の「図表 8-3-1 業務評価基準」により評価し、記録を保存する。

受託者は評価結果について異議を申し立てることはできないものとする。

また、評価結果が契約条件に影響を与えることは一切ないものとする。

図表 8-3-1 業務評価基準

評価ランク	評価基準
1	物品の品質、納入などで仕様を超える成果があった。
2	仕様書により仕様どおりの成果を得た。
3	仕様書のほかに口頭の指示などにより仕様どおりの成果を得た。
4	担当者が相当程度指導するなどして、なんとか仕様レベルの成果を得た。
5	仕様を達成できなかった。

9. 問合せ先

新潟市財務部市民税課

郵便番号 951-8554

新潟市中央区古町通 7 番町 1010 番地 古町ルフル 3 階

電話 025-226-2253

E-mail shiminzei.to@city.niigata.lg.jp

入 力 帳 票 仕 様 書

No.	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	1レコードあたりの 平均文字数		レコード長	ファイル名	媒体名	備考
					半角/英数/カナ	全角				
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	150	0	1,030	ZKPCH.JUMINZEI	SHIZEIxx（正/副）	
2			102	給与支払報告書	164	0	1,200	ZKPCH.KYUHO		
3			103	年金支払報告書	94	0	600	ZKPCH.NENHO		
4			105	確定申告書	192	0	700	PUNCH_2B.DAT		イメージデータを提供
5	法人市民税	113	221	申告書 2 0 号様式	282	10	700	ZH.SINKDATA	HOJINxx（正/副）	
6			222	申告書 2 0 号の 3 様式	144	0	700			
7			223	申告書 2 2 号の 3 様式	79	0	700			
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	55	16	160	ZJ.IDODATA	KEIJIxx（正/副）	
9			107	異動データ（三輪・四輪）	24	1	160			
10			108	車両異動データ（二輪／転入）	55	185	498			

（xx は任意の数値とし、正/副で同じ値とする）

FILE名

ZKPCH. JUMINZEI

レコード長

1030

ブロック長

備考

※特定親族特別控除を追加した場合のレコード長さです。

	パンチ指示	指 示 の 意 味		パンチ指示	指 示 の 意 味
	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。	11	記入どおりパンチ
パ	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。	12	D U P
ン	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。	13	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）
チ	4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。	5	
指	5	0 = 0	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。	14	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）
示	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。	15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。
配	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。（B＝不明の意）(注)標示は必ず項目の上にする。	パンチ指示決定時の注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。
入	8	0 = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。		2. HZ、BS、B＝SPが最も好ましいので、これを基本とする。
要	9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。		3. HSは、できる限り避ける。
領	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。		4. B＝0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。
					5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。
					6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。
					7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード
業 務 名 (112) 個人市県民税

コード
ファイル名 (101) 市県民税申告書

頁 = 3/4

作成日 2025年9月22日

担当者

1 FORM NO	USAGE	40	38	39	40	38	39	40	38	39	40																																																																																										
	ITEM	専従者(03)				専従者(04)				専従者(05)																																																																																											
		専従者給与額	専従者生年月日	専従者個人番号	専従者給与額	専従者生年月日	専従者個人番号	専従者給与額	専従者生年月日	専従者個人番号	専従者給与額																																																																																										
RL	BF	T A G	S9(10) ※	9(7)	X(12)	S9(10) ※	9(7)	X(12)	S9(10) ※	9(7)	X(12)	S9(10) ※																																																																																									
CARD NAME		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NO		パンチ指示	HZ B=φ ※先頭に＋または－の符号がつく				B=φ 元号は明治=1、大正=2、昭和=3、平成=4、令和=6に読み替える 元年は01年に読み替える 年月日の空白はφをパンチ				記入どおり				HZ B=φ ※先頭に＋または－の符号がつく				B=φ 元号は明治=1、大正=2、昭和=3、平成=4、令和=6に読み替える 元年は01年に読み替える 年月日の空白はφをパンチ				記入どおり				HZ B=φ ※先頭に＋または－の符号がつく				B=φ 元号は明治=1、大正=2、昭和=3、平成=4、令和=6に読み替える 元年は01年に読み替える 年月日の空白はφをパンチ				記入どおり																																																																		
NOTES																																																																																																					

1 FORM NO	USAGE	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	68	69	68	69																																																																			
	ITEM	専従者給与額合計	徴収方法・普通徴収	配当割除除額	株式等割除除額所得割額	控配	同配	扶養親族	障害者人数情報	扶養年少人数	本人特障	本人他障	寡婦	ひとり親	勤労学生	本人専従	青色申告区分	専従配偶	専従他人数	次年送付	所得調整区分	所得控除コード	コード金額(01)	所得控除金額	所得控除コード	コード金額(02)	所得控除金額	所得控除コード	コード金額(03)	所得控除金額																																																																							
RL	BF	T A G	S9(10) ※	9 9	S9(10)	S9(10)	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※																																																																								
CARD NAME		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NO		パンチ指示	HZ B=φ ※先頭に＋または－の符号がつく				B=φ チェックあれば1なければφ				‘＋φφφφφφφφφφ’ 固定				‘＋φφφφφφφφφφ’ 固定				B=φ				HZ B=φ				B=φ				HZ B=φ				B=φ				B=φ チェックあれば1なければφ				B=φ チェックあれば1なければφ				B=φ 何れかにチェックあれば1なければφ																																																						
NOTES																																																																																																					

1 FORM NO	USAGE	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69	68	69																																																																						
	ITEM	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額	所得控除コード	所得控除金額																																																																						
RL	BF	T A G	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※	9(3)	S9(10) ※																																																																							
CARD NAME		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NO		パンチ指示	HZ B=φ マーカー部分の金額欄に記載があった場合にコードの数字と金額をパンチ ※金額は先頭に＋または－の符号がつく																																																																																																		
NOTES																																																																																																					

給与から差引き（特別徴収）	4 2 □
自分で納付（普通徴収）	4 3 □

6 給与所得の内訳

日給などの給与所得のある人で、源泉徴収票のない人は記入してください。

月	日給	勤務日数	月収
1		円	円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
賞与等			円
合計			
法人番号又は所在地			
勤務先名			
電話番号			

7-2 事業(営業等・農業)所得に関する事項

業種	屋号
所在地	
科目	金額
売上(収入)金額計 (雑収入を含む)	① 円
売上経費 (販賣手数料等の支出金額)	
給料賃金・雇人費	
減価償却費	
地代家賃・小作料	
借入金利息等	
租税公課	
水道光熱費	
旅費交通費	
通信費	
損害保険料	
修繕費	
消耗品費	
計	② 円
専従者控除前の所得金額 (①-②)	③ 円
専従者控除額	④ 円
所得金額(③-④)	⑤ 円

7-3 不動産所得に関する事項

科目	金額
収入金額	円
家賃収入	
地代収入	
計	① 円
固定資産税	
損害保険料	
修繕費	
減価償却費	
借入金利息等	
計	② 円
専従者控除前の所得金額 (①-②)	③ 円
専従者控除額	④ 円
所得金額(③-④)	⑤ 円

家賃収入などの内訳

借受人氏名(名称)	家賃・地代	期間	賃貸金額計
		月	円

7-1 収入の内訳

所得の種類	支払者名・法人番号又は所在地等	収入金額
		円

8・9・10 配当所得・雑所得(公的年金等以外)・総合譲渡所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・支払者の「名称」及び「法人番号又は所在地」等	収入金額	必要経費	差引金額
		円	円	円

7-4 減価償却費の計算 ◆税制改正により、平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産と平成19年3月31日以前に取得した減価償却資産で償却率が異なります。

減価償却資産の名称	面積又は数量	取得年月	④取得価格	⑤償却の基準になる金額	耐用年数	⑥償却率	④月割	⑥本年分の償却費 (⑤×⑥×④)	①専用割合	必要経費算入額	未償却残高
		年 月	円	円	年		月	円	%	円	円
		.					12				
		.					12				
							計				

11 事業専従者に関する事項

氏名	生年月日	続柄	同居・別居の区分	別居の場合の住所	専従者給与(控除)額
1	明・大 38		□同居 □別居		40 円
個人番号	39				従事月数 か月
2	明・大 38		□同居 □別居		40 円
個人番号	39				従事月数 か月
所得税における青色申告の承認の有無					承認あり ・ 承認なし
合計額					41 円

12 別居の扶養親族に関する事項(別居の被扶養者、事業専従者について追加があれば記入)

氏名	生年月日	続柄	国外居住	住所	専従者給与(控除)額
1	40に記載ありは38 40に記載なしは36	□30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □38万円以上の支払	82	40(0円は記載なしとみなす)	88 円
個人番号	40に記載ありは39 40に記載なしは37				従事月数 か月
2	40に記載ありは38 40に記載なしは36	□30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □38万円以上の支払	83	40(0円は記載なしとみなす)	89 円
個人番号	40に記載ありは39 40に記載なしは37				従事月数 か月

13 事業税に関する事項

非課税所得など	番号	所得金額	円	損益通算の特例適用 前の不動産所得	円	事業用資産の 譲渡損失など	資産の種類	損失額、被災損失額(円)	円
前年中の開(廃)業	開始・廃止	月 日		□ 他都道府県の事務所等					

14-1 寄附金に関する事項

都道府県・市区町村分 (特例控除対象)	住所地の共同募金会・日本赤十字 都道府県・市区町村分(特例控除対象以外)	住所地の条例指定分(社会福祉法人・学校法人等)
70	71	新潟県分 72 新潟市分 73 円

「都道府県・市区町村分(特例控除対象)」、「住所地の共同募金会・日本赤十字・都道府県・市区町村分(特例控除対象以外)」の各欄には、当該団体へ寄附した金額を記入してください。「住所地の条例指定分」の「新潟県分」「新潟市分」の各欄には新潟県、新潟市の条例で指定された寄附金を支出した場合にそれぞれ記入してください。

14-2 寄附先に関する事項

寄附先の名称・所在地	寄附金の金額

15 所得金額調整控除に関する事項

氏名	生年月日	明・大・昭 平・令	続柄	特別障害者に 該当する場合	職 度
別居の場合 の住所					
個人番号					

給与等の収入金額が850万円を超えており、23歳未満の扶養親族を有する場合や、本人または同一生計配偶者・扶養親族が特別障害者の場合に、該当者一人分について記入してください。

参考 前年中所得のなかった人などの記入欄

① 非課税所得により生活している	該当のものを○で囲んでください。 遺族年金 ・ 障害年金 ・ 雇用保険 ・ その他 ()
② 令和6年1月1日現在他市町村に居住していた	令和6年1月1日現在の住所
③ 右記の者から扶養又は仕送りを受けている	住所 電話 - - 氏名 生年月日 続柄
④ その他の事情(生活費の状況など)	該当のものを○で囲んでください。 預貯金 ・ その他 ()

※令和7年度税制改正があるため特定親族特別控除が追加となる可能性があります。

FILE名

ZKPCH. KYUHO


レコード長

1200

ブロック長

備考

カードNo=「0」 総括表
=「1」 普徴開始票
=「2」 給与支払報告書

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パンチ指示	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
	4	5	6														
	5																
4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）			
4	5	6															
5																	
5	O = O	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。															
記入要領	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。			15			その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。								
	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。(B = 不明の意)(注)標示は必ず項目の上にする。			パンチ指示決定時の注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。 2. HZ、BS、B = S Pが最も好ましいので、これを基本とする。 3. HSは、できる限り避ける。 4. B = 0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。 5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。 6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。 7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。										
	8	O = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。														
	9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。														
	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。														

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	① 資料番号														9	9(3)			④ 特徴キー情報 特徴指定番号								9	9(7)		⑧ 個人番号 法又は番号													9	9(4)		9(4)			⑪ 電話番号												SP																																							
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14														15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NAME			パンチ指示		記入どおり														↑		↑		HZ								↑		B=φ 元号は令和=6に読み替える 元年は01年に読み替える 年月日の空白はφをパンチ													↑		HS			HZ		未使用 SP																																																	
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						


★

左側「要」が○で囲まれていたら
右側「不要」が○で囲まれていたら
記載がないときφ

1 FORM NO		USAGE																																																																																																			
		ITEM																																																																																																			
RL	BF	T A G																																																																																																			
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																		
CARD NAME			パンチ指示																																																																																																		
CARD NO																																																																																																					
NOTES																																																																																																					

1 FORM NO		USAGE																																																																																																			
		ITEM																																																																																																			
RL	BF	T A G																																																																																																			
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																		
CARD NAME			パンチ指示																																																																																																		
CARD NO																																																																																																					
NOTES																																																																																																					

F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パ ン チ 指 示	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
	4	5	6														
	5																
4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）</td></tr></table>	4	5	6	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）							
4	5	6															
指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）																	
5	O = O	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。															
配 入 要 領	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。			15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。										
	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。（B = 不明の意）(注)標示は必ず項目の上にする。			パ ン チ 指 示 決 定 時 の 注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。 2. HZ、BS、B = SPが最も好ましいので、これを基本とする。 3. HSは、できる限り避ける。 4. B = Oはむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の信頼を考慮した上で決定する。 5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。 6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。 7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。										
	8	O = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。														
	9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。														
	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。														

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

業 務 名 (112) 個人市県民税

ファイル名 (102) 給与支払報告書

(総括表 カードNo.0) 頁 = 2/4

作成日 2025年9月22日


担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パ ン チ 指 示	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
	4	5	6														
	5																
4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>		4	5	6	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）						
4	5	6															
5	O = O	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。															
配 入 要 領	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。			15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。										
	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。（B = 不明の意）(注)標示は必ず項目の上にする。			パ ン チ 指 示 決 定 時 の 注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。										
	8	O = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。				2. H Z、B S、B = S Pが最も好ましいので、これを基本とする。										
	9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。				3. H Sは、できる限り避ける。										
	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。				4. B = 0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。										
						5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。											
						6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。											
						7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“K S T O P”で表す。											

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

業 務 名 (112) 個人市県民税

ファイル名 (102) 給与支払報告書

(総括表 カードNo.0) 頁 = 3/4

作成日 2025年9月22日


担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

	パンチ指示	指 示 の 意 味		パンチ指示	指 示 の 意 味
	1	H Z		11	記入どおりパンチ
パ	2	B S		12	D U P
ン	3	H S		13	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）
チ	4	S P		14	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）
指	5	O = O		15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。
示	6	B = S P			1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせる事。
配	7				2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。
入	8	O =不明			3. HSは、できる限り避ける。
要	9	B = O			4. B = O はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。
領	10	前づめ			5. 漢字パンチの際は、U S A G E欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。
					6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。
					7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

業 務 名 (112) 個人市県民税

ファイル名 (102) 給与支払報告書

(総括表 カードNo.0) 頁 = 4/4

作成日 2025年9月22日

担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

ミシン目を切り離してご利用ください



きりとり

令和 8 年度（令和7年分）給与支払報告書（総括表）

追加 訂正	指定番号	
令和 年 月 日提出 新潟市長殿	4	5
給与の支払期間	令和 年 月分から 月分まで	
給与支払者の 個人番号又は法人番号	8	7
フリガナ		
給与支払者の 氏名又は名称	事業種目	
所得税の源泉徴収 をしている事務所 又は事業の名称	受給者員	人
フリガナ	特別徴収対象者	9 人
同上の所在地	報告 普通徴収対象者 (退職者)	人
給与支払者が 法人である場合 の代表者の氏名	人 普通徴収対象者 (退職者を除く)	人
連絡者の氏名、 所属課、係名 及び電話番号	報告人員の合計	10 人
氏名 (電話)	所 税 務 署 名	税務署
氏名 (電話)	給与の支払方法 及びその期日	
関与税理士氏名	納入書の送付	要 6 不要

ここから下はハサミ等で切りとらず、給与支払報告書とまとめて、下記のとおりご提出ください。ご協力をお願いいたします。

- (1) 給与支払報告書は、新潟市内全区分をまとめて提出してください。
(各区ごとに提出する必要はありません。)
- (2) 給与支払報告書は、受給者 1 人につき、正票 1 枚を下図の順番に並べ、紙または
ゴム等でしっかりと結束してください。
- (3) 新潟市への報告人員と個人別明細書の枚数が一致しているか確認してください。

右図の順番に
並べて提出し
てください。



F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

	パンチ指示	指 示 の 意 味		パンチ指示	指 示 の 意 味
	1	H Z		11	記入どおりパンチ
パ	2	B S		12	D U P
ン	3	H S		13	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）
チ	4	S P		14	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）
指	5	O = O		15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。
示	6	B = S P			1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせる事。
配	7				2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。
入	8	O = 不明			3. HSは、できる限り避ける。
要	9	B = O			4. B = O はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。
領	10	前づめ			5. 漢字パンチの際は、U S A G E欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。
					6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。
					7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード

業 務 名 (112) 個人市県民税

コード

ファイル名 (102) 給与支払報告書

(普徴開始票 カードNo.1)

頁 = 1/4

作成日 2025年9月22日


担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パ ン チ 指 示	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
	4	5	6														
	5																
	4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）		
4	5	6															
5																	
5	O = O	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。															
6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。															
配 入 要 領	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。（B = 不明の意）(注)標示は必ず項目の上にする。			15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。										
8	O = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。			パン チ 指 示 決 定 時 の 注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。											
9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。				2. HZ、BS、B = S P が最も好ましいので、これを基本とする。											
10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。				3. HS は、できる限り避ける。											
						4. B = 0 はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。											
						5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。											
						6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。											
						7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。											

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード	
業 務 名 (112)	個人市県民税
コード	
ファイル名 (102)	給与支払報告書

(普徴開始票 カードNo.1) 頁 = 2/4

作成日 2025年9月22日


担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

	パンチ指示	指 示 の 意 味		パンチ指示	指 示 の 意 味
	1	H Z		11	記入どおりパンチ
パ	2	B S		12	D U P
ン	3	H S		13	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）
チ	4	S P		14	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）
指	5	O = O		15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。
示	6	B = S P			1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせる事。
配	7				2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。
入	8	O =不明			3. HSは、できる限り避ける。
要	9	B = O			4. B = O はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。
領	10	前づめ			5. 漢字パンチの際は、U S A G E欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。
					6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。
					7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“K S T O P”で表す。

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード	業 務 名 (112)	個人市県民税
コード	ファイル名 (102)	給与支払報告書

(普徴開始票 カードNo.1) 頁 = 3/4

作成日 2025年9月22日


担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

F I L E名	
ZKPCH. KYUHO	
レコード長 1200	ブロック長
備 考	

	パンチ指示	指 示 の 意 味		パンチ指示	指 示 の 意 味
	1	H Z		11	記入どおりパンチ
パ	2	B S		12	D U P
ン	3	H S		13	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）
チ	4	S P		14	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）
指	5	O = O		15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。
示	6	B = S P			1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせる事。
配	7				2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。
入	8	O =不明			3. HSは、できる限り避ける。
要	9	B = O			4. B = O はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。
領	10	前づめ			5. 漢字パンチの際は、U S A G E欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。
					6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。
					7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード	
業 務 名 (112)	個人市県民税
コード	
ファイル名 (102)	給与支払報告書

(普徴開始票 カードNo.1) 頁 = 4/4

作成日 2025年9月22日

担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

1 FORM NO		USAGE																																																																																																	
		ITEM																																																																																																	
RL	BF	T A G	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																	
CARD NO																																																																																																			
NOTES																																																																																																			

⑦

①資料番号（14桁）

普通徴収者分仕切紙

指定番号 ④特徴指定番号

普通徴収

ここから下は

です

（個人住民税を個人で納付する方）

普通徴収の理由		人数
理由1	乙欄該当者（他の事業所で特別徴収）	人
理由2	給与の支払が不定期	人
理由3	個人事業主が確定申告等で申告している事業専従者	人
理由4	退職又は退職予定者（5月末日まで）、休職又は育児休業等	人
合 計		人

※上記の理由に該当しない方は特別徴収対象者となります。

※複数の理由に該当する方は、主な理由の欄に人数を記入してください。

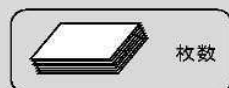
特別徴収義務者名

「普通徴収者分仕切紙」の人数の記入方法

この仕切紙には退職者等で個人住民税を特別徴収できない方の人数を記入してください。
この仕切紙に記入した人数の合計と、この仕切紙以降に添付する個人別明細書の枚数、
総括表の報告人員の「普通徴収対象者」の合計人数がすべて一致していることを確認してくだ
さい。（下図参照）

普通徴収者分仕切紙

普通徴収の理由		人数
理由1	乙欄該当者（他の事業所で特別徴収）	2 人
理由2	給与の支払が不定期	2 人
理由3	個人事業主が確定申告等で申告している事業専従者	2 人
理由4	退職又は退職予定者（5月末日まで）、求職又は育児休業等	2 人
合 計		8 人

給与天引きできない方の
個人別明細書の枚数

枚数

一致

合計

総括表

報 告 人 員	特別徴収対象者	5	人
	普通徴収対象者 （退職者）	2	人
	普通徴収対象者 （退職者を除く）	6	人
	報告人員の合計	13	人

FILE名

ZKPCH. KYUHO

レコード長


1200

ブロック長

備考

文字コード=JEF

カードNo.=「0」 総括表
=「1」 普徴開始票
=「2」 給与支払報告書

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パンチ	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
4	5	6															
5																	
チ	4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）		
4	5	6															
5																	
指	5	O = O	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。														
示	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。														
配入			この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。（B = 不明の意）(注) 標示は必ず項目の上にする。			15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。										
要領	8	O = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。			パンチ指示決定時の注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。										
	9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。				2. HZ、BS、B = SPが最も好ましいので、これを基本とする。										
	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。				3. HSは、できる限り避ける。										
						4. B = 0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。											
						5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。											
						6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。											
						7. 漢字パンチの際、詰コードの終了を“KSTOP”で表す。											

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード

業務名 (112)

個人市県民税

コード

ファイル名 (102)

給与支払報告書

(給与支払報告書 カードNo.2)

頁 = 1/4

作成日

2025年9月22日

担当者

1 FORM NO	USAGE																																																																																																					
	ITEM																																																																																																					
RL	BF	TAG																																																																																																				
CARD NAME																																																																																																						
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 資料番号

2 カードNo

3 資料区分

4 特徴キー情報

5 特徴個人番号

6 SP

7 受給者番号

9 (14)

9 (3)

9 (8)

9 (4)

X (25)

X (75)

記入どおり

特徴給報 '200' 固定

特徴給報 '300' 固定

'2' 固定

'*****' 固定

'*****' 固定

SP

BS, B= SP

1 FORM NO	USAGE																																																																																																					
	ITEM																																																																																																					
RL	BF	TAG																																																																																																				
CARD NAME																																																																																																						
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

8 個人番号

9 氏名カナ

X (12)

X (60)

記入どおり

BS, B= SP

姓と名の間に1ブランク

1 FORM NO	USAGE																																																																																																					
	ITEM																																																																																																					
RL	BF	TAG																																																																																																				
CARD NAME																																																																																																						
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

10 給与収入

11 給与所得

12 所得控除合計

13 差引所得税額

14 控除配情報

15 控除配老

16 所得税配(特)控除

17 扶養人数情報

18 扶養同老人数

19 扶養老人数

20 扶養他人数

21 扶養年少人数

22 障害者人数情報

23 障害特人数

24 障害他人数

25 社会保険料金額

26 共済等掛金控除

27 生命保険所得控除

28 地震保険控除

S9 (9) ※

S9 (9) ※

S9 (9) ※

S9 (9) ※

9 9

S9 (7) ※

9 9 9 9 (2) 9 (2)

9 9 9

S9 (8) ※

S9 (8) ※

S9 (8) ※

S9 (8) ※

HZ, B=φ

※先頭に‘+’または‘-’の符号を付ける

記載があれば‘1’記載がなければ‘0’

HZ, B=φ

※先頭に‘+’または‘-’の符号を付ける


B=φ

B=φ

HZ, B=φ

※先頭に‘+’または‘-’の符号を付ける

FILE名 <div>ZKPCH. KYUHO</div>	
レコード長 <div>1200</div>	ブロック長
備考 文字コード=JEF	
カードNo.=「0」 総括表 =「1」 普徴開始票 =「2」 給与支払報告書	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パンチ	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
4	5	6															
5																	
チ	4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）		
4	5	6															
5																	
指	5	O = O	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。														
示	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。														
配	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。（B＝不明の意）(注)標示は必ず項目の上にする。			15	その他特殊な指示は簡潔明確な説明文を付ける。										
入	8	O＝不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の付箋を貼る。			パンチ指示決定時の注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。										
要	9	B＝0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。				2. HZ、BS、B＝SPが最も好ましいので、これを基本とする。										
領	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。				3. HSは、できる限り避ける。										
							4. B＝0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。										
							5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。										
							6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。										
							7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。										

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード
業 務 名 (112) 個人市県民税

コード
ファイル名 (102) 給与支払報告書

(給与支払報告書 カードNo.2) 頁 = 3/4

作成日 2025年9月22日

担当者

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パンチ指示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

※令和7年度税制改正があるため特定親族特別控除が追加となり、仕様書の修正がある予定です。

8 給与支払報告書(個人別明細書)

※区分		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		25		26		27		28		29		30		31		32		33		34		35		36		37		38		39		40		41		42		43		44		45		46		47		48		49		50		51		52		53		54		55		56		57		58		59		60		61		62		63		64		65		66		67		68		69		70		71		72		73		74		75		76		77		78		79		80		81		82		83		84		85		86		87		88		89		90		91		92		93		94		95		96		97		98		99		100		101		102		103		104		105		106		107		108		109		110		111		112		113		114		115		116		117		118		119		120		121		122		123		124		125		126		127		128		129		130		131		132		133		134		135		136		137		138		139		140		141		142		143		144		145		146		147		148		149		150		151		152		153		154		155		156		157		158		159		160		161		162		163		164		165		166		167		168		169		170		171		172		173		174		175		176		177		178		179		180		181		182		183		184		185		186		187		188		189		190		191		192		193		194		195		196		197		198		199		200		201		202		203		204		205		206		207		208		209		210		211		212		213		214		215		216		217		218		219		220		221		222		223		224		225		226		227		228		229		230		231		232		233		234		235		236		237		238		239		240		241		242		243		244		245		246		247		248		249		250		251		252		253		254		255		256		257		258		259		260		261		262		263		264		265		266		267		268		269		270		271		272		273		274		275		276		277		278		279		280		281		282		283		284		285		286		287		288		289		290		291		292		293		294		295		296		297		298		299		300		301		302		303		304		305		306		307		308		309		310		311		312		313		314		315		316		317		318		319		320		321		322		323		324		325		326		327		328		329		330		331		332		333		334		335		336		337		338		339		340		341		342		343		344		345		346		347		348		349		350		351		352		353		354		355		356		357		358		359		360		361		362		363		364		365		366		367		368		369		370		371		372		373		374		375		376		377		378		379		380		381		382		383		384		385		386		387		388		389		390		391		392		393		394		395		396		397		398		399		400		401		402		403		404		405		406		407		408		409		410		411		412		413		414		415		416		417		418		419		420		421		422		423		424		425		426		427		428		429		430		431		432		433		434		435		436		437		438		439		440		441		442		443		444		445		446		447		448		449		450		451		452		453		454		455		456		457		458		459		460		461		462		463		464		465		466		467		468		469		470		471		472		473		474		475		476		477		478		479		480		481		482		483		484		485		486		487		488		489		490		491		492		493		494		495		496		497		498		499		500		501		502		503		504		505		506		507		508		509		510		511		512		513		514		515		516		517		518		519		520		521		522		523		524		525		526		527		528		529		530		531		532		533		534		535		536		537		538		539		540		541		542		543		544		545		546		547		548		549		550		551		552		553		554		555		556		557		558		559		560		561		562		563		564		565		566		567		568		569		570		571		572		573		574		575		576		577		578		579		580		581		582		583		584		585		586		587		588		589		590		591		592		593		594		595		596		597		598		599		600		601		602		603		604		605		606		607		608		609		610		611		612		613		614		615		616		617		618		619		620		621		622		623		624		625		626		627		628		629		630		631		632		633		634		635		636		637		638		639		640		641		642		643		644		645		646		647		648		649		650		651		652		653		654		655		656		657		658		659		660		661		662		663		664		665		666		667		668		669		670		671		672		673		674		675		676		677		678		679		680		681		682		683		684		685		686		687		688		689		690		691		692		693		694		695		696		697		698		699		700		701		702		703		704		705		706		707		708		709		710		711		712		713		714		715		716		717		718		719		720		721		722		723		724		725		726		727		728		729		730		731		732		733		734		735		736		737		738		739		740		741		742		743		744		745		746		747		748		749		750		751		752		753		754		755		756		757		758		759		760		761		762		763		764		765		766		767		768		769		770		771		772		773		774		775		776		777		778		779		780		781		782		783		784		785		786		787		788		789		790		791		792		793		794		795		796		797		798		799		800		801		802		803		804		805		806		807		808		809		810		811		812		813		814		815		816		817		818		819		820		821		822		823		824		825		826		827		828		829		830		831		832		833		834		835		836		837		838		839		840		841		842		843		844		845		846		847		848		849		850		851		852		853		854		855		856		857		858		859		860		861		862		863		864		865		866		867		868		869		870		871		872		873		874		875		876		877		878		879		880		881		882		883		884		885		886		887		888		889		890		891		892		893		894		895		896		897		898		899		900		901		902		903		904		905		906		907		908		909		910		911		912		913		914		915		916		917		918		919		920		921		922		923		924		925		926		927		928		929		930		931		932		933		934		935		936		937		938		939		940		941		942		943		944		945		946		947		948		949		950		951		952		953		954		955		956		957		958		959		960		961		962		963		964		965		966		967		968		969		970		971		972		973		974		975		976		977		978		979		980		981		982		983		984		985		986		987		988		989		990		991		992		993		994		995		996		997		998		999		1000		1001		1002		1003		1004		1005		1006		1007		1008		1009		1010		1011		1012		1013		1014		1015		1016		1017		1018		1019		1020		1021		1022		1023		1024		1025		1026		1027		1028		1029		1030		1031		1032		1033		1034		1035		1036		1037		1038		1039		1040		1041		1042		1043		1044		1045		1046		1047		1048		1049		1050		1051		1052		1053		1054		1055		1056		1057		1058		1059		1060		1061		1062		1063		1064		1065		1066		1067		1068		1069		1070		1071		1072		1073		1074		1075		1076		1077		1078		1079		1080		1081		1082		1083		1084		1085		1086		1087		1088		1089		1090		1091		1092		1093		1094		1095		1096		1097		1098		1099		1100		1101		1102		1103		1104		1105		1106		1107		1108		1109		1110		1111		1112	
-----	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--

令和8年度 パンチ指示書(給与支払報告書)

新潟市役所 市民税課
更新日:令和7年9月22日

<目次>

1. 生年月日について
2. カナ氏名について
3. 総括表について
4. 同一生計配偶者・住宅借入金等特別控除に関する事項について
5. 前職分給与の入力について
6. 災害者欄の「専従者」補記について
7. 退職手当有扶養親族等区分について
8. 配偶者・扶養親族の区分について
9. 旧様式の給報パンチについて

1 生年月日について

☆正確な記載方法

受給者生年月日			
元号	年	月	日
昭和			

明治・大正・昭和・平成・令和のいずれかが入ります。

年・月・日にそれぞれ数字の記載がされます。

～以下の左記のように記載がある場合右記のようにパンチします～

元号	年	月	日

・元号を下記に読み替えます。

明治	…	1	で読み替えます。
大正	…	2	で読み替えます。
昭和	…	3	で読み替えます。
平成	…	4	で読み替えます。
令和	…	5	で読み替えます。

・元号の頭1文字しか記載されていない場合。

③

元号	年	月	日
昭	49	7	7

⇒ 「3490707」
… でパンチ願います。

・和暦で記載すべき生年月日欄に西暦で記載がある場合。

元号	年	月	日
	1978	1	5

⇒ 「3530105」
… でパンチします。

1978年 ⇒ 昭和53年
西暦を和暦に読み替えた後、
和暦を数字1文字に読み替えます。

2 カナ氏名 について

☆正確な記載方法

氏	姓	名
ニイガタ	タロウ	
新潟	太郎	

カナ氏とカナ名が記載され、その間に空白がありカナ氏名の区別ができます。

・氏と名の間に空白がなく、区別が付かない場合。

フリガナ	キタオニバス
------	--------

フリガナ	キタオニバス
------	--------

「キタ オニバス」

…でパンチ願います。(スラッシュ補記で空白対応)

・文字間が全てほぼ同様の空欄やカナ氏名の間以外で空白があり氏名の判断が困難な場合。

フリガナ	ヒガシミナト
------	--------

フリガナ	ヒガシミナト
------	--------

「ヒガシ ミナト」

…でパンチ願います。(スラッシュ補記で空白対応)

・大文字と小文字が混在している場合。

フリガナ	チュウオウヤナギ
------	----------

フリガナ	チュウオウヤナギ
------	----------

「チュウオウ ヤナギ」

…でパンチ願います。(小文字を大文字に読替えます)

・フリガナが平仮名で記載されている場合。

フリガナ	かめだ うめ
------	--------

フリガナ	かめだ うめ
------	--------

「カメダ ウメ」

…でパンチ願います。(平仮名をカタカナに読替えます)

③

- ・氏名欄の名が平仮名でフリガナ欄に記載のない場合。

フリガナ	アキハ
氏名	秋葉 もみじ



フリガナ	アキハ モミジ
氏名	秋葉 もみじ

「アキハ モミジ」 …でパンチ願います。
(職員でフリガナの空欄埋めをし、パンチに回します。)

- ・氏名欄に全てカタカナで氏名の記載がありフリガナに記載のない場合。

フリガナ	
氏名	ミナミ モモ



「ミナミ モモ」 …でパンチ願います。
(氏名欄のカタカナをフリガナに置き換えてパンチ願います。)
この際、総括表または先頭の給報に付箋等での指示は付けずに
パンチに回します。

- ・フリガナが読みづらい(読めない)場合。

フリガナ	ニシ サガタ
氏名	西 佐潟



フリガナ	ニシ サガタ ニシ サガタ
氏名	西 佐潟

「ニシ サガタ」 …でパンチ願います。
(点検時に空白へ読みやすく記載をし、パンチに回します。)

- ・フリガナで『ヲ』を使い記載している場合。

フリガナ	ニシカン マツヲ
氏名	西蒲 松夫



「ニシカン マツオ」 …でパンチ願います。
(パンチ入力の際「ヲ」を「オ」に読み替えて下さい。)

- ・外国人の給報でフリガナに数箇所空白がある場合。

フリガナ	ドン キ ホーテ
氏名	ドン キ ホーテ



フリガナ	ドン/キ/ホーテ
氏名	ドン キ ホーテ

「ドン キ ホーテ」 …でパンチ願います。
(空白全てにスラッシュを記載します。
スラッシュ部分はスペースとしてください。)

- ・外国人の給報でフリガナに中点(・)が入っている場合。

フリガナ	キャスバル・ジオ・ダイクン
氏名	キャスバル・ジオ・ダイクン



フリガナ	キャスバル/ジオ/ダイクン
氏名	キャスバル・ジオ・ダイクン

「キャスバル ジョ ダイクン」
…でパンチ願います。(中点(・)全てにスラッシュを記載。)

- ※ 以上のように、生年月日・カナ氏名ともに不明点が出ないよう市民税課で対応しますが、不明点がありましたら生年月日は「〇埋めパンチ」とし、カナ氏名は「スペース埋めパンチ」としてください。
- ※ 事業所によってはカナ氏名欄に何かしらの文字が記載され、カナ氏名自体が漢字氏名欄に記載がある場合は、それぞれ(事業所毎)で指示を記載した付箋を貼りパンチに回します。

3 総括表について

[illegible]

← 「納入書の送付」欄

4 同一生計配偶者・住宅借入金等特別控除に関する事項について

同一生計配偶者である旨の文言(「同配」等)と「配偶者氏名」が○で囲まれていたら、“1”をパンチしてください。

[illegible]

パンチできなかったとして
付箋を貼ってください。

③

住宅借入金等特別控除に関する事項について

項目 36 番・39 番 「居住開始年月日」について

- ・「居住開始年月日」は和暦で記載されます。年が 16～31 のときは、平成を付した「4 y y」、年が 01～15 のときは令和を付した「5 y y」とパンチしてください。
(西暦で記載されている場合は、和暦に読み替えてからパンチしてください。)

項目 37 番・40 番「住宅借入金特別控除区分」について

- ・「01」「11」「21」「31」など、数値の補記がある場合は、数値をパンチしてください。
- ・「住」「住(特)」など、漢字が記載されている場合は、「11」とパンチしてください。
- ・【R5より追加】「31」「32」「34」はコロナウイルスに関する特例になります。
- ・「居住開始年月日」に記載があれば、「住宅借入金特別控除区分」が空欄の場合でも「11」とパンチしてください。

※「居住開始年月日(2回目)」、「住宅借入金特別控除区分(2回目)」も同様としてください

住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除適用数	1	居住開始年月日(1回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住
	住宅借入金等特別控除可能額	円	居住開始年月日(2回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除適用数	1	居住開始年月日(1回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	
	住宅借入金等特別控除可能額	円	居住開始年月日(2回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除適用数		居住開始年月日(1回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住(特)
	住宅借入金等特別控除可能額	円	居住開始年月日(2回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	

すべて「11」をパンチ

5 前職分給与収入の入力について

- ・項目 77 番「前職給与収入」には摘要欄の赤丸の中の金額をパンチしてください。
(前職分の給与等の記載がある場合、職員が赤で丸囲みする補記をしています。)

〔摘要〕			
前職	〇〇建設(株)	給与543.200	社保60.000 源泉28.000

(前職の記載が複数ある場合、合計した給与収入金額を補記しています。)

〔摘要〕			
		666.600	
〇〇建設(株)	給与543.200	社保60.000	源泉28.000
(株)△△建築	給与123.400	社保0	源泉6.700

6 「災害者」欄への専従者補記について

- ・摘要欄などに「専従者」「青専」などの記載がある場合、「災害者」欄に職員が赤字で「1」を補記します。この場合、項目 66 番：本人専従に「1」をパンチしてください。

未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	乙 欄	本人が障害者 特 別	専 一 般	婦 特 別
			1				

③

7 退職手当有扶養親族等区分について

・令和6年度より、退職手当の支払いを受ける一定の配偶者・扶養親族がいる場合は、摘要欄に「(退) 氏名・続柄・生年月日・住所・障害者である場合はその旨」を記載し、併せて5人目の以降の16歳未満の扶養親族の個人番号の欄に「(退) 個人番号」を記載することとなりました。

上記の記載がある場合、摘要欄の「(退)」の印字を職員が赤字で丸囲み、または、赤字でを補記します。この場合、項目80番：退職手当有扶養親族等区分に“1”をパンチしてください。

<small>{摘要}</small>	(退) 新潟太郎・夫・S31. 1. 1 新潟市中央区古町通7番町
	もしくは タ

項目 80 番に
「1」をパンチ

③

8 配偶者・扶養親族の区分について

※令和7年度税制改正があるため特定親族特別控除が追加となり、仕様書の修正がある予定です。

・控除対象配偶者および扶養親族について、非居住（国外に居住している）の場合は、下記の区分欄に〇（記号のマル）もしくは数字が記入されています。

「控除対象配偶者」「16歳未満の扶養親族」・・・非居住に該当する場合「〇（記号のマル）」

「控除対象扶養親族」・・・非居住に該当する場合「01（またはイ）」「02（またはロ）」「03（またはハ）」「04（またはニ）」

上記の記載がある場合、項目__番：●●に以下のようにパンチしてください。

「控除対象配偶者」「16歳未満の扶養親族」

：「空欄」「〇」「00」の場合 →数字の「00」をパンチ

：「〇（記号のマル）」の記載がある →数字の「01」をパンチ

：「✓」など上記以外の記載がある →数字の「09」をパンチ

「控除対象扶養親族」：「空欄」「〇」「00」の場合

→数字の「00」をパン

：「01（またはイ）」の記載がある

→数字の「01」をパンチ

：「02（またはロ）」の記載がある

→数字の「02」をパンチ

：「03（またはハ）」の記載がある

→数字の「03」をパンチ

：「04（またはニ）」の記載がある

→数字の「04」をパンチ

：「〇（記号のマル）」の記載がある

→数字の「09」をパンチ

：「10」「11」「20」「21」「30」「31」「40」「41」「50」「51」

「60」「61」「70」「71」「80」「81」「90」「91」の記載がある

→記載のとおりパンチ

：それ以外の数字の記載がある

→数字の「09」をパンチ

※記載の数字が「1」「2」のように1桁の場合は、「01」「02」のように置き換えてパンチしてください

控除対象配偶者	(フリガナ)	氏名	新潟 花子	区分	〇	控除対象配偶者： 非居住の場合「〇」が 記載されています	旧長期損害 保険料の金額	円	
	個人番号						所得金額 税額控除額	円	
	(フリガナ)	氏名	新潟 一郎	区分	01		16歳未満の扶養親族	5人目以降の控除対象扶養 親族の個人番号	
	個人番号								
控除対象扶養親族	(フリガナ)	氏名	新潟 英二	区分	03	16歳未満の扶養親族： 非居住の場合「〇」が 記載されています	5人目以降の16歳未満の扶 養親族の個人番号		
	個人番号								
	(フリガナ)	氏名		区分					
	個人番号								
	(フリガナ)	氏名		区分					
	(フリガナ)	氏名		区分					

③

9 旧様式の給報パンチについて

以下旧様式の給与支払報告書で提出された場合は指示のとおりパンチしてください。

＜「寡婦・ひとり親」について＞

平成29年度～令和2年度までの旧様式は、「ひとり親」の欄が「寡婦特別」「寡夫」になっています。

「寡婦特別」「寡夫」欄に○がついている場合は、「ひとり親」に置き換えてパンチ願います。

控除対象扶養親族	1	氏名	区分	16歳未満の扶養親族	1	氏名	区分	16歳未満の扶養親族		
	2	氏名	区分		2	氏名	区分			
	3	氏名	区分		3	氏名	区分			
	4	氏名	区分		4	氏名	区分			
未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	乙	本人が障害者	寡婦特別	寡夫	勤労学生	中途就・退職	受給者生年月日
支払者	住所(居所)又は所在地	氏名又は名称								(電話)

＜「16歳未満扶養親族」について＞

・平成24年度～平成28年度の旧様式は、「16歳未満扶養親族」の欄が「未成年者」の隣の欄にあるため、現在の様式に置き換えてパンチしてください。

給与支払報告書(個人別明細書)	25	支払を受ける者	住所	氏名	(受給者番号)	(フリガナ)	(役職名)					
	種別	支給金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額							
	給料・賞与	⑤内	千	円	千	円	千	円				
	控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)	障害者の数(本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額				
	⑩有	⑪無	⑫有	⑬無	⑭有	⑮無	⑯有	⑰無				
	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額	居住開始年月日	国民年金保険料等の金額	介護医療保険料の金額	新個人年金保険料の金額	旧個人年金保険料の金額	旧長期損害保険料の金額					
	配偶者の合計所得	①千	円	新個人年金保険料の金額	②千	円	旧個人年金保険料の金額	③千	円			
	新生命保険料の金額	④千	円	旧生命保険料の金額	⑤千	円	旧長期損害保険料の金額	⑥千	円			
	扶16歳未満扶養親族	未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	乙	本人が障害者	寡婦特別	寡夫	勤労学生	中途就・退職	受給者生年月日
	支払者	住所(居所)又は所在地	氏名又は名称								(電話)	

・平成23年度以前の様式には「16歳未満扶養親族」欄がありません。

(23)											※種別	※整理番号																													
	支払 ※区分										氏名	(受給者番号)																													
	を受ける住所											(フリガナ) (役職名)																													
種別		支払金額										給与所得控除後の金額										所得控除の額の合計額										源泉徴収税額									
給料・賞与		①円 円										円										円										円									
控除対象配偶者の有無等		配偶者特別控除の有無等		扶養親族の数(配偶者を除く)		障害者の数(本人を除く)		社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地産保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額																											
○ あり		○ なし		特定老人その他		特別その他		⑥千円		⑦千円		円		円		円		円		円		円		円		円															
(扶養) 住宅借入金等特別控除可能額		円										国民年金保険料等の金額										円																			
居住開始年月日												2人										配偶者の合計所得② 個人年金保険料の金額 旧長期損害保険料の金額③																			
○ あり		○ なし		本人が障害者である場合		差障りがある場合		○ あり		○ なし		○ あり		○ なし		中経就・退職金退却年		支給者生年月日		明大昭平		年月日		年月日		年月日															
支払者		住所(居所)又は所在地 氏名又は名称										22																													
												(電話)																													

(補遺) に控除対象配偶者、扶養親族の氏名、続柄及び前記分の加算額、支払者等を記入してください。

(個人別明細)

(摘要)	住宅借入金等特別控除可能額	円	国民年金保険料等の金額
居住開始年月日	平成25年7月7日入居		

⇒ … でパンチ願います。

R（令和）…**5** で読み替えます。

(個人別明細)

(摘要)	住宅借入金等特別控除計算書	国 庫 債 券 保 険 料 等 の 金 額
居住開始年月日	<u>2015年7月7日</u>	<u>入居</u>

… でパンチします。

2015年 ⇒ 平成27年
和暦に読み替えたあと、
上記の例と同じく読み替えます。

個人別明細

(摘要)	住宅借入金等特別控除可能額	円	国民年金保険料等の金額
居住開始年月日	<u>H25. 7. 7</u>		
	<u>H25/7/7</u>	居住開始	

… でパンチします。

③

・居住年月日の記載が2つ以上ある場合はパンチしません。

個人別 明細	(摘要) 住宅借入金等特別控除可能額		円 国民年金保険料等の金額	
	居住開始年月日	H18.7.7	借入等年末残高 住	11,500,000
		H25.10.10	借入等年末残高 住	9,000,000

赤下線が引かれていても、パンチしません。

※ 不明点がありましたら 'O埋めパンチ' としてください。

※平成 29 年度から・・・

個人別 明細	(摘要) 住宅借入金等特別控除可能額		円 国民年金保険料等の金額	
	居住開始年月日	H 2 5 . 7 . 7	ここ	

・「居住開始年月日」に記載があり、「ここ」に、記載がない場合は、「11」とする。
数値の記載がある場合は数値のとおりとする。

FILE名	
ZKPCH. NENHO	
レコード長 600	ブロック長
備考 令和03年度以降用	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味								
パンチ要領	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。								
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。								
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）		
	4	5	6														
	5																
	4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>		4	5	6	5			指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）		
	4	5	6														
	5																
	5	0 = 0	項目に0が記入されているらその項目の全カラムを“0”でうめる。			15			その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。								
	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。			パンチ指示決定時の注	<div>1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。</div> <div>2. HZ、BS、B = S Pが最も好ましいので、これを基本とする。</div> <div>3. HSは、できる限り避ける。</div> <div>4. B = 0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。</div> <div>5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。</div> <div>6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。</div> <div>7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。</div>										
7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。（B = 不明の意）（注）標示は必ず項目の上にする。															
8	0 = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。															
9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。															
10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。															

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード	業 務 名 (112)	個人市県民税
コード	ファイル名 (103)	年金支払報告書

頁 = 1/2

作成日 2025年9月22日

担当者

1 FORM NO	USAGE	①資料区分	②資料番号										③個人番号										④氏名カナ																																								⑤生年月日																																							
RL	BF	T A G	9(3)	9(14)														X(12)												X(60)																																																												9(7)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NAME			パンチ指示	'404'固定	記入どおり																	BS B=(SP) 姓と名の間に1ブランク																																								B=φ 元号は明治=1、大正=2、昭和=3、平成=4、令和=5に読み替える 元年は01年に読み替える 年月日の空白はφをパンチ																																								
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO	USAGE	⑥支払金額1・4号	⑦源泉徴収1税・額4号										⑧支払金額2・5号										⑨源泉徴収2税・額5号										⑩支払金額3・6号										⑪源泉徴収3税・額6号										⑫支払金額7号										⑬源泉徴収税額7号										⑭本人特障	⑮本人他障	⑯ひとり親	⑰寡婦	⑱控対配一般	⑲控対配老人	⑳扶養特定人数	㉑扶養他人人数	㉒扶養年少人数	㉓障害者人数情報	㉔障害者特人数	㉕障害者特人数	㉖社会保険料控除																	
RL	BF	T A G	9(9)	9(9)										9(9)										9(9)										9(9)										9(9)										9(9)										9	9	9	9	9	9	9	9	9(2)	9(2)	9	9	9	9(9)																									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NAME			パンチ指示	HZ B=φ																																								記載あり：1 記載なし：φ										B=φ										HZ B=φ										B=φ (内 人) の記載があった場合パンチ										B=φ HZ B=φ																		
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO	USAGE	㉚源泉控除対象配偶者																														㉙個人番号										㉘配偶者の合計所得										㉗48万以下	㉕控除対象扶養親族1ーフリガナ																																																														
	ITEM	フリガナ																														個人番号										配偶者の合計所得										48万以下	控除対象扶養親族1ーフリガナ																																																														
RL	BF	T A G	X(60)																																																												X(12)												S9(7)※										9	X(60)																													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100													
CARD NAME			パンチ指示	BS B=(SP) 姓と名の間に1ブランク																																																												記入どおり												HZ B=φ ※先頭に‘+’または‘-’の符号を付ける										BS B=(SP) 姓と名の間に1ブランク																													
CARD NO																																																																																																																			
NOTES																																																																																																																			

公的年金等支払報告書(個人別明細書)

※種 別										※整理番号										※									
										2																			
個人番号										3																			
支払を受ける者		※区 分																											
		住 所																											
		(フリガナ)		4																									
		氏 名		生年 月 日		明 治		大 正		昭 和		平 成		令 和		年		5		月		日							
区 分				支 払 金 額				源 泉 徴 収 税 額																					
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分				6 千 円				7 千 円																					
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分				8				9																					
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分				10				11																					
所得税法第203条の3第7号適用分				12				13																					
本 人				源泉控除対象配偶者の有無等		控除対象扶養親族の数			16歳未 満の扶 養親族 の数		障害者の数		非居住者 である 親族の数		社会保険料の額														
特 別 障害者	その他の 障害者	ひとり親	寡婦	一般	老人	特定	老人	その 他			特別	その他																	
14	15	16	17	18	19	20人	21人	22人	23人	24人	25人	26人			27 円														
源泉控除対象配偶者						控除対象扶養親族				16歳未満の扶養親族																			
(フリガナ)	28			区分	配偶者の合計所得	(フリガナ)	32			区分	(フリガナ)	36			区分														
氏名				41	30 円	1	氏名				42	1	氏名				44												
個人番号	29			48万円 以下	31		個人番号	33					個人番号	37															
(摘要)										(フリガナ)		34			区分	(フリガナ)	38			区分									
40										2		氏名				43	2	氏名				45							
										個人番号		35				個人番号	39												
支 払 者		法 人 番 号																											
		所 在 地																											
		名 称										電 話 番 号																	

④

令和8年度 パンチ指示書（年金支払報告書）

新潟市役所 市民税課
更新日：令和7年9月 日

<目次>

1. 新様式のパンチについて
2. 旧様式のパンチについて
3. 退職手当有扶養親族等区分について
4. 配偶者・扶養親族の居住区分について

1 新様式のパンチについて

令和4年度から、以下の様式です。

令和3年度以前からの変更点は項目の名称のみです。（★印）

変更点：「特別寡婦」⇒「ひとり親」、「寡婦・寡夫」⇒「寡婦」

令和3年度以前の旧様式で提出があった場合、「特別寡婦」・「寡夫」に該当があった場合は「ひとり親」に読み替えてパンチしてください。

公的年金等支払報告書（個人別明細書）															種類	別	振替用番号	振
																	2	
															個人番号		3	
支払を受ける者	区分																	
	住 所																	
	(フリガナ)		4															
氏 名				生年月日	5													
区分			支 払 金 額			源 来 徴 収 税 額												
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分			6			7												
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分			8			9												
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分			10			11												
所得税法第203条の3第4号適用分			12			13												
本 人	除 税 者		控除対象扶養親族の数		障害者の数		16歳未満の扶養親族の数		障害者の数		非障害者で扶養親族の数		社会保険料の額					
特別寡婦	その他の除税者	ひとり親	寡婦	一般	老人	特定	老人	その他	特別	その他	特別	その他	入	27				
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26						
寡妻・寡夫・寡婦			控除対象扶養親族			16歳未満の扶養親族			障害者の数			社会保険料の額						
(フリガナ)			区分			(フリガナ)			区分			(フリガナ)						
氏名			41			氏名			42			氏名						
個人番号			29			個人番号			33			個人番号						
(損益)			40			(フリガナ)			34			(フリガナ)						
★			40			氏名			43			氏名						
法人番号			所在地			氏名			35			個人番号						
名称			電話番号			氏名			36			氏名						
支払者			電話番号			氏名			37			氏名						
電話番号			氏名			氏名			38			氏名						
電話番号			氏名			氏名			39			氏名						
電話番号			氏名			氏名			40			氏名						
電話番号			氏名			氏名			41			氏名						
電話番号			氏名			氏名			42			氏名						
電話番号			氏名			氏名			43			氏名						
電話番号			氏名			氏名			44			氏名						
電話番号			氏名			氏名			45			氏名						

④

＜令和３年度の旧様式＞

公的年金等支払報告書(個人別明細書)															世帯番号	2	世帯						
支払を受ける者															個人番号	3							
住所																							
(フリガナ)															4								
氏名															生年月日	5							
区分															支払金額			源泉徴収税額					
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分															6			7					
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分															8			9					
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分															10			11					
所得税法第203条の3第7号適用分															12			13					
本人															控除対象扶養親族の数			障害者の数			社会保険料の額		
特別障害者	その他の障害者	特別寡婦	寡婦	一般	老人	特定	老人	その他	16歳未満の扶養親族の数	特別	その他	障害者である親族の数											
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27										
源泉控除対象配偶者															控除対象扶養親族			16歳未満の扶養親族					
(フリガナ)															(フリガナ)			(フリガナ)					
氏名															30			32			36		
個人番号															29			33			37		
(必要)															31			34			38		
氏名															35			39					
法人番号																							
所在地																							
名称																							
電話番号																							

平成31年度から、控除対象配偶者欄に、③⑩「配偶者の合計所得」、③⑪「38（R3～は48）万円以下」の項目が追加されました。

③⑪欄に記載がある場合は「1」をパンチ願います。

④

2 旧様式の年報パンチについて

※公的年金支払報告書は、区分が4段、または3段の様式が混在します。
入力項目の番号（上記）に準じて処理してください。

H29年度～H30年度の公的年金支払報告書様式で提出された場合

控除対象配偶者欄に、③⑩「配偶者の合計所得」、③⑪「38（48）万円以下」の項目がありません。

公的年金等支払報告書(個人別明細書)															宗種 別	整理番号	期
支払を受ける者	区分													2			
	住所													個人番号	3		
	(フリガナ)	4												生年月日	5		
	氏名																
区分		支払金額				源泉徴収税額											
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分		6				7											
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分		8				9											
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分		10				11											
所得税法第203条の3第7号適用分		12				13											
本 人		源泉控除対象配偶者の有無		控除対象扶養親族の数		16歳未満の扶養親族の数		障害者の数		非障害者である障害者の数		社会保険料の額					
特 別 障害者	その他の 障害者	ひとり親 家庭	一般	老人	特定	老人	その他		特別	その他			27				
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26					
源泉控除対象配偶者				控除対象扶養親族				16歳未満の扶養親族									
(フリガナ)	28		区分	配偶者の合計所得		(フリガナ)	32		区分	(フリガナ)	36		区分				
氏名	41		30	1	氏名	42		1	氏名	44							
個人番号	29		48万円以下	31	個人番号	33			個人番号	37							
(適要)	★ 40				(フリガナ)	34		区分	(フリガナ)	38		区分					
					氏名	43		2	氏名	45							
					個人番号	35			個人番号	39							
支払者	法人番号																
	所在地																
	名称																
													電話番号				

※（適要）欄に控除対象配偶者の所得が記載されている場合、パンチせず、
 “配偶者所得の記載あり” とフセンをつけてください。

④

H27年10月までの公的年金等支払報告書（3段で書かれている場合）で提出された場合

○所得税法第203条の3第2号適用分が第3号適用分のどちらか1つに記載がある場合

公的年金等支払報告書(個人別明細書)										※種別	※整理番号	※		
支払を受ける者	※区分		住所		生年月日	明治		大正		昭和		平成		
	フリガナ					年		年		月		月		
	氏名													
区分			支払金額			源泉徴収額								
所得税法第203条の3第1号適用分			⑧			⑨								
所得税法第203条の3第2号適用分			⑧			⑨								
所得税法第203条の3第3号適用分			⑧			⑨			1,000					
本			人			控除対象扶養親族の数			障害者の数			社会保険料の額		
特別障害者	その他の障害者	特別寡婦	寡婦寡夫	有	無	老人控除対象配偶者	特定	老人	その他	特別	その他			
(摘要)											16歳未満の扶養親族の数			
支払者											所在地			
名称											(電話)			

支払金額は旧様式の2号適用欄分として“項番⑧”欄にパンチしてください。源泉徴収税額は“項番⑨”欄にパンチしてください。

○2号適用分と3号適用分の両方に記載がある場合

公的年金等支払報告書(個人別明細書)										※種別	※整理番号	※		
支払を受ける者	※区分		住所		生年月日	明治		大正		昭和		平成		
	フリガナ					年		年		月		月		
	氏名													
区分			支払金額			源泉徴収額								
所得税法第203条の3第1号適用分			⑧			⑨								
所得税法第203条の3第2号適用分			33,000			32,000			⑨					
所得税法第203条の3第3号適用分			⑧			⑨			1,000					
本			人			控除対象扶養親族の数			障害者の数			社会保険料の額		
特別障害者	その他の障害者	特別寡婦	寡婦寡夫	有	無	老人控除対象配偶者	特定	老人	その他	特別	その他			
(摘要)											16歳未満の扶養親族の数			
支払者											所在地			
名称											(電話)			

2号適用分と3号適用分を合計して市民税課にて補記します。支払金額は旧様式の2号適用欄分として“項番⑧”欄にパンチしてください。源泉徴収税額は“項番⑨”欄にパンチしてください。

- ・摘要欄に「同居の特別障害者数」の人数が記載されている場合は、“項番②4”欄にパンチしてください。

上記の記載がある場合、摘要欄の「(退)」の印字を職員が赤字で丸囲み、または、赤字で補記します。
この場合、項目40番：退職手当有扶養親族等区分に“1”をパンチしてください。

個人番号							48万円以下
(摘要)							
(退)新潟太郎・夫・昭和31年1月1日・新潟市中央区学校町通1-1							
法人番号							

項目 40 番に
「1」をパンチ

4 配偶者・扶養親族の居住区分について

「03（または）ハ」「04（または）ニ」

5

④


源泉控除対象配偶者		控除対象扶養親族		16歳未満の扶養親族	
(フリガナ)	新潟 花子	(フリガナ)	新潟 一郎	(フリガナ)	新潟 次郎
氏名	新潟 花子	氏名	新潟 一郎	氏名	新潟 次郎
配偶者の合計所得	円 48万円以下	区分	01	区分	0
個人番号		個人番号		個人番号	
(概要)		区分		区分	
		氏名		氏名	
		個人番号		個人番号	

控除対象配偶者：
非居住の場合「0」が
記載されています

控除対象扶養親族：
非居住の場合「01～04」
が記載されています

16歳未満の扶養親族：
非居住の場合「0」が
記載されています

FILE名	
PUNCH_2B. DAT	
レコード長	ブロック長
700	
備 考	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味					
パ ン チ 指 示 要 領	1	H Z	項目の左空白部分を"0"でうめる。			11	記入どおりパンチ		記入されているどおりにパンチする。					
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を"スペース"で流す。			12	D U P		指示に従って項目を自動的に複写する。					
	3	H S	項目の左空白部分を"スペース"でうめる。			13	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>		4	5	6	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする(例では3カラムに"5"をパンチする)		
	4	5	6											
	4	S P	その項目を全カラム"スペース"でうめる。			14	<table><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>		4	5	6	指示する範囲を示す。(例では4カラム目から6カラム目まで。)		
	4	5	6											
	5	0 = 0	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを"0"でうめる。			15			その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。					
	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを"スペース"でうめる。			パ ン チ 指 示 決 定 時 の 注	<div>1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。</div> <div>2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。</div> <div>3. HSは、できる限り避ける。</div> <div>4. B=0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。</div> <div>5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に"A"又は"K"のモードの別を記入する。</div> <div>6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には"区切"と記入する。</div> <div>7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を"KSTOP"で表す。</div>							
	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の「付箋」を貼る。(B=不明の意)(注)標示は必ず項目の上にする。											
	8	0 = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の「付箋」を貼る。											
9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを"0"でうめる。												
10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。												

新潟市

PUNCH LAYOUT FORM

コード	
業 務 名 (112)	個人市県民税
コード	
ファイル名 (105)	確定申告書

作成日 2025年9月22日

担当者

1 FORM NO		USAGE	①																																																																																																			
		ITEM	ファイル名 (以下は参考の内訳情報)																																																																																																			
			国税庁から連携した時点の未加工のファイル名 (拡張子は除く)																																																																																																			
			資料番号	データ区分	ファイル種別	送信先 地方自治体 コード	国税部内使用 コード	1月1日 地方自治体 コード	申告 区分	確定申告 区分	異動年月日	局署番号	整理番号	バッチ番号	受付番号	連絡データ 作成年月日																																																																																						
RL	BF	T A G	X (120)																																																																																																			
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME			記入どおり 必ず120桁																																																																																																			
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧																																																																																																			
		ITEM	雑損控除																																																																																																			
			生命保険料控除																																																																																																			
			連絡データ 作成年月日 (続き)	第2表 コード	台帳番号	身元 確認	番号 確認	本人 確認 更新 番号	余白1	損害金額	損害補填金額	災害関連支出	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額	新個人年金保険料の金額																																																																																						
RL	BF	T A G	X (10) S9 (10) ※ S9 (10) ※ S9 (10) ※ S9 (10) ※ S9 (10) ※ S9 (10) ※																																																																																																			
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME			SP HZ B=φ ※先頭に+または-の符号がつく																																																																																																			
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

1 FORM NO		USAGE	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿																																																																																																			
		ITEM	地震保険料控除																																																																																																			
			配偶者や親族に関する事項																																																																																																			
			新個人年金保険料 の金額 (続き)	旧個人年金保険料の金額	旧長期損害保険料の計	勤労 学生 区分	本人 特別 障害 区分	配偶者生年月日	配偶者個人番号	配偶者 障害 区分	配偶者 特別 障害 区分	配偶者 同一 居住 区分	配偶者 別居 区分	配偶者 その他 障害 区分	親族生年月日	親族個人番号	親族 障害 区分	親族 特別 障害 区分	親族 16才 未満 区分	親族 別居 区分	親族 その他 障害 区分	親族生年月日	親族個人番号	親族 障害 区分																																																																														
RL	BF	T A G	S9 (10) ※ S9 (10) ※ 9 9 9 9 (7) X (12) 9 9 9 9 9 9 (7) X (12) 9 (7) X (12) 9																																																																																																			
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100																																																																																																			
CARD NAME			HZ B=φ ※先頭に+または-の符号がつく																																																																																																			
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

※令和7年度税制改正があるため特定親族特別控除が追加となり、仕様書の修正がある予定です。

○この申告書は、二枚目が控用（複写式）となっています。

第二表（令和七年分用）○第二表は、第一表と一緒に提出してください。○国民年金保険料や生命保険料の支払証明書など申告書に添付しなければならない書類は添付書類台紙などに貼ってください。

1	ファイル名(例)	503713920000010115101115101000020410120190426026010100860219042108000100000000000000000201905081147562P1900028001000
41	パンチせずフラグ	
44	退職手当有扶養親族等区分	

R 8 年度 パンチ指示書（確定申告書）

新潟市役所 市民税課
更新日: 令和7年9月22日

<目次>

1. 生命保険料控除欄について
2. 事業専従者に関する事項の欄について
3. 配偶者や親族に関する事項について
4. 住宅ローン控除に関する事項(居住年月日)について
5. 「退職所得のある配偶者・親族の氏名」欄について
6. 配偶者・扶養親族の非居住区分について
7. 配偶者や扶養に関する事項のその他について ←[R8]追加

1 生命保険料控除欄について

次のような場合は指示のとおりに入力してください。

⑮ 生命保険料控除	新 生 命 保 険 料	源泉のとおり	円
	旧 生 命 保 険 料		
	新 個 人 年 金 保 険 料	源泉のとおり 20,000	
	旧 個 人 年 金 保 険 料		
	介護医療保険料		

数字でなく文字の場合は「0」とし、
‘パンチせずフラグ’に「2」を
パンチしてください。

金額と文字の併記の場合は金額だけパン
チしてください。
「20,000」

2 事業専従者に関する事項の欄について

次のような場合は指示のとおりに入力してください。

○ 事業専従者に関する事項

事業専従者の氏名	個 人 番 号	続柄	生 年 月 日
		つま	大 平 ・ 大 平
		子の妻	大 平 ・ 大 平

「夫」「妻」をひらがな・カタカナで記入の場
合は「1」。「配偶者」「嫁」の場合は「0」。

本人にとって「配偶者」ではな
い関係の場合は「0」。

3 配偶者や親族に関する事項の欄について

次のような場合は指示のとおりに入力してください。

○ 配偶者や親族に関する事項 (20～23)

氏 名	個 人 番 号	続柄	生 年 月 日	障 害 者
新潟 はな		配偶者	第・大 48 . 1 . 16 国・平	
新潟 はじめ			第・大 18 . 6 . 11 国・平	
新潟 ジロー			第・大 20 . 6 . 29 国・平	
新潟 三司			第・大 24 . 4 . 28 国・平	
新潟 志郎			第・大 25 . 10 . 3 国・平	
新潟 いつ子			第・大 平 28 . 3 . 18 国・平	
新潟 六朗			第・大 元 . 7 . 25 国・平	

上図のように申告者が枠を手書きしたり、欄外に記入したりしている場合は
‘パンチせずフラグ’ に「2」をパンチしてください。

4 住宅ローン控除に関する事項(居住年月日)について

～以下の左記のように「特例適用条文等」に記載がある場合右記のようにパンチします～

○ 特例適用条文等

平成27年3月15日居住開始

・年号を下記に読み替えます。

H (平成) … 4

R (令和) … 5

で読み替えます。

それ以外は“0埋めパンチ”とします。

「4270315」

… でパンチ願います。

・和暦ではなく西暦で居住年月日の記載がある場合。

○ 特例適用条文等

2019年7月7日居住開始

・西暦を和暦に読み替えた後、上記の例と同じよう年号を数字1文字に読み替えます。

2019年⇒令和元年

「5010707」

… でパンチします。

・居住年月日の記載が2つ以上ある場合。

○ 特例適用条文等

平成30年7月9日居住開始
平成23年10月10日居住開始

“0埋めパンチとし、
“パンチせずフラグ” に「2」
をパンチします。

7 配偶者や扶養に関する事項の住宅と特親、その他について ←[R8]追加

※令和7年度税制改正があるため特定親族特別控除が追加となり、仕様書の修正がある予定です。

住宅

記載「〇マル」があれば「1」 無ければ「0（ゼロ）」

「✓」があれば「1」 無ければ「0（ゼロ）」

上記以外の記号→パンチせずフラグ”に「2」をパンチ

特親

:「03」「06」「11」「21」「31」「41」「51」「61」「63」→記載のとおりパンチ

:「3」「6」の場合→それぞれ「03」「06」をパンチ

その他

:「1」の数字が記載されている →数字の「1」をパンチ

: 空欄か「0（ゼロ）」になっている →数字の「0」をパンチ

: 2以上の数字や✓など上記以外の記号等の記載 →パンチせずフラグ”に「2」をパンチ

○ 配偶者や親族に関する事項 (20~24、35、40)

氏 名	個 人 番 号	続柄	生 年 月 日	障 害 者	国外居住	特親	住宅	住 民 税	その
		配偶者	明・大 昭・平	障	特障	年・証	特親	特親	別
			明・大 昭・平・令	障	特障	年・証	特親	16	別
			明・大 昭・平・令	障	特障	年・証	特親	16	別
			明・大 昭・平・令	障	特障	年・証	特親	16	別
			明・大 昭・平・令	障	特障	年・証	特親	16	別

FILE名

ZH.SINKDATA

レコード長


700

ブロック長

7000

備 考

市民税賦課システム(法人市民税)

パンチ指示			指 示 の 意 味									
パンチ指示記入要領	1	H Z	項目の左空白部分を"0"でうめる。	11	記入どおりパンチ	記入されているどおりにパンチする。						
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を"スペース"で流す。	12	D U P	指示に従って項目を自動的に複写する。						
	3	H S	項目の左空白部分を"スペース"でうめる。	13	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td colspan="3">5</td></tr></table>	4	5	6	5			項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする(例では5カラムに"5"をパンチする)
	4	5	6									
	5											
	4	SP	その項目を全カラム"スペース"でうめる。	14	<table border="1"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>	4	5	6	指示する範囲を示す。(例では4カラム目から6カラム目まで。)			
	4	5	6									
	5	0=0	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを"0"でうめる。									
	6	B=SP	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを"スペース"でうめる。	15	その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。							
	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の"付箋"を貼る。(B=不明の意)(注)標示は必ず項目の上にする。	パンチ指示決定時の注意	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。 2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。 3. HSは、できる限り避ける。 4. B=0はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。 5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に"A"又は"K"のモードの別を記入する。 6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には"区切"と記入する。 7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を"KSTOP"で表す。							
8	0=不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の"付箋"を貼る。										
9	B=0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを"0"でうめる。										
10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。										

1 FORM NO		2 2 1		USAGE																																																																	
法人市民税 申告書データ (第20号様式)				ITEM	パターンコード	整理番号	管理番号	申告区分	法人番号	申告年月日				納税者ID	この申告の基礎								期末現在の資本等の金額																																														
										元号	年	月	日		(上段)				(下段)				期末現在の資本金の額又は出資金の額								期末現在の資本金の額及び資本準備金の額の合算額								期末現在の資本金等の額																														
RL	700	BF	10	T A G	1	8				9				3	13								11				1	2	2	2	1	2	2	2	14								14								14																		
					パンチ指示	HZ B=0				HZ B=0 (頭1桁'0'固定 + 8桁パンチ)				HZ B=0				HZ B=SP								各項 HZ B=0				HZ B=SP								各項 HZ B=0				各項 HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								(100)			
CARD NAME																																																																					
CARD NO																																																																					
NOTES																																																																					

1 FORM NO		USAGE																																																						
		ITEM		事業年度	使途秘匿金税額等 ①の()内	法人税法の規定によって 計算した法人税額 ①	試験研究費の額等に係る 法人税額の特別控除額 ②	還付法人税額等の控除額 ③	退職年金等積立金に係る法人税額 ④	課税標準となる法人税額 及びその法人税割額 ①+②-③+④ ⑤の左側	課税標準となる法人 税額 及びその法人税割額 ①+②-③+④ ⑤の右側																																													
												開始日				終了日																																								
												元号	年	月	日	元号	年	月	日																																					
RL		BF		T A G	1	2	2	2	1	2	2	2	12				12				12				12				12				12				12				12															
					各項 HZ B=0				各項 HZ B=0				HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								(200)			
CARD NAME																																																								
CARD NO																																																								
NOTES																																																								

1 FORM NO		USAGE																																														
		ITEM		2以上の市町村に事務所又は事業所を 有する法人における課税標準となる 法人税額及び その法人税割額 ⑤/㉓×㉔ ⑥の左側	2以上の市町村に事務所又は事業所を 有する法人における課税標準となる 法人税額及び その法人税割額 ⑤/㉓×㉔ ⑥の右側	市民税の特定寄附金税額控除額 ⑦	外国の法人税等の額の控除額 ⑩	仮装経理に基づく 法人税割額の控除額 ⑪	差引法人税割額 ⑤-⑦+⑧-⑨-⑩-⑪又は ⑥-⑦+⑧-⑨-⑩-⑪ ⑫	既に納付の確定した 当期分の法人税割額 ⑬	租税条約の実施に係る 法人税割額の控除額 ⑭																																					
RL		BF		T A G	12				12				12				12				12				12				12				12				12											
					HZ B=0				HZ B=0				HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								(300)			
CARD NAME																																																
CARD NO																																																
NOTES																																																

【第 20 号様式】法人市民税パンチ資料（R8.1.1～）

(1) パンチ用紙レイアウト

別紙参照

(2) データエントリ（パンチ）方法

下記のレコードを作成します。（項番は別紙【第 20 号様式（R8.1.1～）】に対応）

項番	項目名	内容
1	パターンコード	1 固定
2	整理番号	欄外（用紙上部）に記載されている数字をパンチ（記載がない時は 0）
3	管理番号	頭 1 桁 0 固定 + 8 桁パンチ（記載がない時は 0）
4	申告区分	記載されている数字（記載がない時は 0）
5	法人番号	記載されている数字（記載がない時はスペース）
6	申告年月日	記載されている数字（記載がない時は 0）
7	納税者 I D	記載されている記号と数字（記載がない時はスペース）
8	この申告の基礎	記載されている数字（記載がない時は 0）
9	期末現在の資本金の額又は出資金の額	記載されている数字（記載がない時は 0）
10	期末現在の資本金の額及び資本準備金の額の合算額	記載されている数字 （記載がない時及び該当項目がない時は 0） ただし、マイナス表記（－又は△）の場合はすべてパンチせずに付箋をつけて返却
11	期末現在の資本金等の額	記載されている数字（記載がない時は 0） ただし、マイナス表記（－又は△）の場合はすべてパンチせずに付箋をつけて返却
12	事業年度	記載されている数字（記載がない時は 0）
13	使途秘匿金税額等	記載されている数字（記載がない時は 0）
14	法人税法の規定によって計算した法人税額	記載されている数字（記載がない時は 0） ただし、マイナス表記（－又は△）の場合はすべてパンチせずに付箋をつけて返却
15	試験研究費の額等に係る法人税額の特別控除額	記載されている数字（記載がない時は 0）
16	還付法人税額等の控除額	記載されている数字（記載がない時は 0）
17	退職年金等積立額に係る法人税額	記載されている数字（記載がない時は 0）
18	課税標準となる法人税額及びその法人税割額（⑤の左欄）	記載されている数字（記載がない時は 0）
19	課税標準となる法人税額及びその法人税割額（⑤の右欄）	記載されている数字（記載がない時は 0）

20	2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額及びその法人税割額(⑥の左欄)	記載されている数字(記載がない時は0)
21	2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額及びその法人税割額(⑥の右欄)	記載されている数字(記載がない時は0)
22	市民税の特定寄附金税額控除額	記載されている数字(記載がない時は0)
23	外国の法人税等の額の控除額	記載されている数字(記載がない時は0)
24	仮装経理に基づく法人税割額の控除額	記載されている数字(記載がない時は0)
25	差引法人税割額	記載されている数字(記載がない時は0)
26	既に納付の確定した当期分の法人税割額	記載されている数字(記載がない時は0)
27	租税条約の実施に係る法人税割額の控除額	記載されている数字(記載がない時は0)
28	この申告により納付すべき法人税割額	記載されている数字(記載がない時は符号を+, 数字を0)
29	月数	記載されている数字(記載がない時は0)
30	均等割税率	記載されている数字(記載がない時は0)
31	均等割額	記載されている数字(記載がない時は0)
32	既に納付の確定した当期分の均等割額	記載されている数字(記載がない時は0)
33	この申告により納付すべき均等割額	記載されている数字(記載がない時は符号を+, 数字を0)
34	この申告により納付すべき市民税額	記載されている数字(記載がない時は符号を+, 数字を0)
35	②⑩のうち見込納付額	記載されている数字(記載がない時は0)
36	差引	記載されている数字(記載がない時は符号を+, 数字を0)
37	当該法人の全従業者数	記載されている数字(記載がない時は0)
38	左のうち新潟市分の従業者数	記載されている数字(記載がない時は0)
39	新潟市分の均等割の税率適用区分に用いる従業者数	記載されている数字(記載がない時は0)
40	翌期中間申告要否	要に○ ⇒ 要に1, 否に0 否に○ ⇒ 要に0, 否に1 記載なし⇒ スペース
41	申告期限延長有無	有に○ ⇒ 有に1, 無に0 無に○ ⇒ 有に0, 無に1 記載なし⇒ スペース
42	銀行名漢字	全てスペースでうめる
43	支店名漢字	全てスペースでうめる
44	口座種別	全てスペースでうめる
45	金融機関コード	全てスペースでうめる

46	口座番号	全てスペースでうめる
47	指定都市に申告する場合の⑮の計算	記載されている行のみパンチ（記載がないレコードは0） ただし、従業者数が空欄かつ均等割額が空欄の場合、1行 すべてパンチ不要 ※

※ 具体例

区名	区コード	月数	従業者数	均等割額	パンチ
	01	12	5	50,000	要
	02	12	5		要
	03	12		50,000	要
	04				不要
	05	12			不要

※新潟市発行分・e L t a x 分共通

※項目7については、e L t a x 帳票のみ。全体の8割。

R8. 1. 1 ~

2

00000000

3

4

5

6

8

項目6, 8, 12 : 元号を数字化。
補記します。令和は「5」

9

10

11

12

年 月 日から 年 月 日

までの令和年度分の市民税の

申告書。[] [] []

⑧、⑨飛ばして入力

13

14

15

16

17

18

20

19

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

47

40

41

44



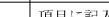
42

43

45

46

FILE名		ZH.SINKDATA
レコード長	700	ブロック長 7000
備考		
市民税賦課システム(法人市民税)		

パンチ指示			指 示 の 意 味		パンチ指示			指 示 の 意 味	
パ ン チ 指 示 入 記 要 領	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。		11	記入どおりパンチ	記入されているどおりパンチする。		
	2	B S	項目の内容を前づめてパンチし、残った部分を“スペース”で流す。		12	D U P	指示に従って項目を自動的に複写する。		
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。		13		項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする(例では5カラムに“5”をパンチする)		
	4	SP	その項目を全カラム“スペース”でうめる。		14		指示する範囲を示す。(例では4カラム目から6カラム目まで。)		
	5	0=0	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。		15		その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。		
	6	B=SP	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。						
	7		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の「付箋」を貼る。(B=不明の意)(注)標示は必ず項目の上にする。						
	8	0=不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の「付箋」を貼る。						
	9	B=0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。						
	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。				パンチ指示決定時の注意 1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。 2. HZ、BS、B=SPが最も好ましいので、これを基本とする。 3. HSは、できる限り避ける。 4. B=0はむやみに使わず、データ量、記号の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。 5. 漢字パンチの際は、USAGE欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。 6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には「区切」と記入する。 7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“KSTOP”で表す。		

新潟市	
PUNCH LAYOUT FORM	
コード	113
業 務 名	法人市民税
コード	222
ファイル名	ZH.SINKDATA
1 1 頁 = 1	
作成日	2025/9/22
担当者	市民税担当SE

1 FORM NO										2 2 2										USAGE																																																																																																																												
法人市民税 申告書データ (第20号の3様式)										ITEM	バ タ ー ン コ ー ド	整理番号									管理番号									申告 区 分			法人番号																申告年月日 元号年 月 日				納税者ID																期末現在の資本等の金額																																																事業年度																											
																																																																					前期末現在の資本金の額又は出資金の額																								前期末現在の資本金の額及び 資本準備金の額の合算額																								前期末現在の資本金等の額																								開始日 元号年 月 日			
RL 700					BF 10					TAG	1	8									9									3			13																1 2 2 2				11																14																								14																								14																								1 2 2 2			
CARD NAME										パン チ 指 示	1	HZ B=0									HZ B=0 (頭1桁'0'固定 + 8桁パンチ)									HZ B=0			HZ B=SP																各項 HZ B=0				HZ B=SP																HZ B=0																								HZ B=0																								HZ B=0																								各項 HZ B=0 (100)			
CARD NO																																																																																																																																																
NOTES																																																																																																																																																
												'2' 固定																																																																																																																																				

1 FORM NO		USAGE																																																																																																				
		ITEM					前事業年度の法人税割額 ①								予定申告額 ②								この申告が修正申告である場合は既に納付の確定した当期分の法人税割額 ③								この申告により納付すべき法人税割額 ②－③ ④								月数 ⑤	均等割税率				均等割額 ⑥				この申告により納付すべき市民税額 ④＋⑥ ⑦								新潟市分の均等割の税率適用区分に用いる従業者数 ⑧								区コード																																						
			終了日																																																																																																			
			元号	年	月	日																																																																																																
RL	BF	TAG	1	2	2	2	12								12								12								12								2	8				12				12								8								2																																						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
CARD NAME			パンチ指示	各項 HZ B=0				HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0								HZ B=0				HZ B=0				HZ B=0				HZ B=0								HZ B=0				(200)																																														
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																				H Z B = 0																																																		

1 FORM NO		USAGE																																																																																																																																																																																
		ITEM	指定都市に申告する場合の⑤の計算																																SP																																																																																																																																															
			(レコード1)															(レコード2)																																																																																			(レコード8)																																																																													
			月数	従業者数					均等割額					区コード	月数	従業者数					均等割額																																																																																																																																																													
RL	DF	TAG	2	6					7					2	2	6					7							366																																																																																																																																																						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																												
CARD NAME			(226-327)																																																																																																				(388-689)																																																																		(700)									
CARD NO			パンチ指示	<div>記載がある行のみパンチする。 (レコード1より順次格納していく。最大8レコード。)</div> <div>格納のないレコードはゼロ埋めする</div>																																																																																																																																																																														
NOTES																																																																																																																																																																																		

【第 20 号の 3 様式】法人市民税パンチ資料 (R8.1.1～)

(1) パンチ用紙レイアウト

別紙参照

(2) データエントリ (パンチ) 方法

下記のレコードを作成します。(項番は別紙【第 20 号の 3 様式 (R8.1.1～)】に対応)

項番	項目名	内容
1	パターンコード	2 固定
2	整理番号	欄外 (用紙上部) に記載されている数字をパンチ (記載がない時は 0)
3	管理番号	頭 1 桁 0 固定 + 8 桁パンチ (記載がない時は 0)
4	申告区分	記載されている数字 (記載がない時は 0)
5	法人番号	記載されている数字 (記載がない時はスペース)
6	申告年月日	記載されている数字 (記載がない時は 0)
7	納税者 I D	記載されている記号と数字 (記載がないときはスペース)
8	前期末現在の資本金の額又は出資金の額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
9	前期末現在の資本金の額及び資本準備金の額の合算額	記載されている数字 (記載がない時及び該当項目がない時は 0) ただし、マイナス表記 (－又は△) の場合はすべてパンチせずに付箋をつけて返却
10	前期末現在の資本金等の額	記載されている数字 (記載がない時は 0) ただし、マイナス表記 (－又は△) の場合はすべてパンチせずに付箋をつけて返却
11	事業年度	記載されている数字 (記載がない時は 0)
12	前事業年度の法人税割額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
13	予定申告額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
14	この申告が修正申告である場合は既に納付の確定した当期分の法人税割額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
15	この申告により納付すべき法人税割額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
16	月数	記載されている数字 (記載がない時は 0)
17	均等割税率	記載されている数字 (記載がない時は 0)
18	均等割額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
19	この申告により納付すべき市民税額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
20	新潟市分の均等割の税率適用区分に用いる従業者数	記載されている数字 (記載がない時は 0)

21	指定都市に申告する場合の⑥の計算	記載されている行をパンチ（記載がないレコードは0） ただし、従業者数が空欄かつ均等割額が空欄の場合、1行 すべてパンチ不要 ※
----	------------------	---

※ 具体例

区名	区コード	月数	従業者数	均等割額	パンチ
	01	12	5	50,000	要
	02	12	5		要
	03	12		50,000	要
	04				不要
	05	12			不要

※新潟市発行分・e L t a x 分共通

※項目 6, 11 については、元号を数字で標記。令和は「5」。

※項目 7 については、e L t a x 帳票のみ。全体の 7 ～ 8 割。

【第 22 号の 3 様式】法人市民税パンチ資料 (R8.1.1～)

(1) パンチ用紙レイアウト

別紙参照

(2) データエントリ (パンチ) 方法

下記のレコードを作成します。(項番は別紙【第 22 号の 3 様式 (R8.1.1～)】に対応)

項番	項目名	内容
1	パターンコード	3 固定
2	整理番号	欄外 (用紙上部) に記載されている数字をパンチ (記載がない時は 0)
3	管理番号	頭 1 桁 0 固定 + 8 桁パンチ (記載がない時は 0)
4	申告区分	記載されている数字 (記載がない時は 0)
5	法人番号	記載されている数字 (記載がない時はスペース)
6	申告年月日	記載されている数字 (記載がない時は 0)
7	納税者 I D	記載されている記号と数字 (記載がない時はスペース)
8	資本金等の額	記載されている数字 (記載がない時は 0) ただし、マイナス表記 (－又は△) の場合はすべてパンチせずに付箋をつけて返却
9	前年 4 月 1 日から 3 月 31 日までの間に新潟市内に事務所又は事業所を有していた期間	記載されている数字 (記載がない時は 0)
10	月数	記載されている数字 (記載がない時は 0)
11	均等割税率	記載されている数字 (記載がない時は 0)
12	均等割額	記載されている数字 (記載がない時は 0)
13	指定都市に申告する場合の②の計算	記載されている行をパンチ (記載がないレコードは 0) ※

※ 具体例

区名	区内の主たる 事務所等の所在地	区コード	月数	均等割額	パンチ
		01	12	50,000	要
		02		50,000	要
		03	12		要
			12	50,000	要

※新潟市分・e L t a x 分共通。

※項目 6, 9 については、元号を数字で標記。令和は「5」。

※項目 7 については、e L t a x 帳票のみ。全体の 1 割にも満たない。

軽自動車税車両異動台帳

申告年月	
平成	
年	月

数量	No.
	/

コード	
補記	
スキャナ	
チェック	
エラー	

更新区分
①

車種
②

標識番号コード
③

新潟

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目箇所（その1）

軽自動車税 クリーム色又は白色の申告書

車種：05・14

⑤ 標識番号 ④ 標識記号 ⑦ 年月日 ① 車名 ⑩ 車台番号 ⑨ 非課税区分 ⑧ 特例区分 ⑥ 所有者コード

⑮ イメージ番号 ⑬ 初度検査年月 ⑫ 型式 ⑪ 燃料の種類CD

41921030000234

新潟 581 123 長岡 50う 3456 4 27 2 12 4 26 12

新潟市 通1-602-1

新潟 一郎

スズキ アバンZ GF-L300S

L300S 987654

1

01045678

1

01045678

419 2 2 03 0020333

受 付 27. 2. 12

更新区分「1」「2」の
帳票は
表示以外のパンチ項目は
ありません。
「0」で埋めるや「空白」
等はパンチレイアウトに準
じます。

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目解説書（その1）

軽自動車税 クリーム色・白色の申告書

車種：05・14

和暦は西暦の下2桁へ変換
「年月日」で不明確等の場合
申告書右下の受領印の日付で
判定。

自動車税申告書（報告書）

イメージ番号 41921030000234

標識記号 新潟 581 123

標識番号 長岡 50う3456

年月日 4 27 2 12 4 26 12

初度検査年月

型式 スズキ ワゴンR GF-L300S

車台番号 987654

燃料の種類CD 1

更新区分「1」「2」はこの箇所に記載があっても無視。消込線処理はしないので注意してパンチ（数が多い）

車名はメーカー名のみ。「ワゴンR」等の名称は入力しないため本市で消込線を補記。またカナ項目につき三菱はミツビシと当方で補記

「車台番号」や「型式」は原則大文字の英数字で構成されている。「I（アイ）」や「O（オー）」は存在しないので「1」等で迷った場合は数字の1や0で入力

半角英数項目につき「フメイ」は入力せず当方で消込線。

枠の数値のみパンチ。凡例に○が付けられている場合、本市で枠に数値を補記

更新区分「1」「2」の帳票は表示以外のパンチ項目はありません。「0」で埋めるや「空白」等はパンチレイアウトに準じます。

「更新区分」「車種」「車種コード」はパンチ束毎に分け、表紙に明記。束はすべて同じ内容のパンチとなる。

「非課税コード」は警察車両等の非課税となる場合のみ「1」

所有者コード 01045678

非課税区分 1

特例区分

軽

受 27. 2. 12 付

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目箇所 (その2)

軽自動車税 水色の申告書

車種:05・14

申告書

1. 新規取得 (動車) 2. 動車取得 (中古車) 3. 動車 4. 輸入 5. 変更 (使用者・住所) 6. 変更 (住所) 7. 変更 (住所) 8. その他 ()

標識番号(A) 標識番号(B) ⑮イメージ番号 42022030000156

7年 月 日

新潟 580 あ 1234 新潟 50 き 4567 4 20 1 1 2

新潟市中央区学校町通1-602-1

新潟 一郎

新潟市中央区白山浦1-123-4

白山 三郎

軽

更新区分「3」は
この(A)か(B)どちらかをパンチ。
通常は(A)を採用。Bを採用する
場合は上記のように(A)に消込
線を引き、Bを赤で○マークす
る。
採用した方を④、⑤入力

更新区分「3」の帳票は
これ以外のパンチ項目は
ありません。
「0」で埋めるや「空白」
等はパンチレイアウトに準

20. 1. 12 付

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目解説書（その2）

軽自動車税 水色の申告書

車種：05・14

イメージ番号 42022030000156

年月日 20.1.12

標識番号(A) 新潟 580 あ 1234

標識番号(B) 新潟 50 き 4567 4

標識記号 新潟 580 あ 1234

標識番号 新潟 50 き 4567 4

更新区分「3」 この(A)か(B)どちらかのパンチ。通常は(A)を採用し、(B)の場合は、上記のとおり(A)に消込線を引き、

和暦は西暦の下2桁へ変換 「年月日」で不明確等の場合 申告書右下の受領印の日付で判定。

更新区分「3」の帳票は これ以外のパンチ項目はありません。 「0」で埋めるや「空白」等はパンチレイアウトに準

「更新区分」「車種」「標識番号コード」 はパンチ束毎に分け、表紙に明記。束はすべて同じ内容のパンチとなる。

新潟 一郎

新潟市中央区白山浦1-123-4

白山 三郎

20.1.12 付

軽自動車税車両異動台帳

申告年月	
平成	
年	月

数量	No.
	/

コード	
補記	
スキャナ	
チェック	
エラー	

更新区分
①

車種
②

標識番号コード
③

新潟

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目箇所（その1）

軽自動車税 クリーム色又は白色の申告書

車種:06・07・08・09・10

[illegible]

更新区分「1」「2」の
帳票は
表示以外のパンチ項目は
ありません。
「0」で埋めるや「空白」
等はパンチレイアウトに準
じます。

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目解説書（その1）

軽自動車税 クリーム色・白色の申告書

車種：06・07・08・09・10

自動車税申告書（報告書）

イメージ番号 41921030000234

標識記号 新潟 581 123

標識番号 新潟市中央区学校町通1-602-1

新 潟 一 郎

記入上の注意

1. ボールペンまたは鉛筆を使用し、できるだけ速く、はっきりと書いてください。

2. 特にアルファベットと数字の記号にご注意ください。

○（オー）と0（ゼロ）

↑（アップ）と1（イチ）

×（ゼット）と2（ニ）

<アルファベット記号例>

ABCDEFGHIJKLMN O PQRSTU VWXY Z

<数字記号例>

0123456789

（市町村処理欄）

更新区分 1

車種 06

車種コード 01

軽自動車税申告書（報告書）

27. 2. 12

受 付

「更新区分」「車種」「車種コード」はパンチ束毎に分け、表紙に明記。束はすべて同じ内容のパンチとなる。

更新区分「1」「2」の帳票は表示以外のパンチ項目はありません。「0」で埋めるや「空白」等はパンチレイアウトに準じます。

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目箇所 (その2)

軽自動車税 水色の申告書

車種：06・07・08・09・10

⑮ イメージ番号 42022030000156

④ 標識記号 新潟 580 あ 1234

⑤ 標識番号 新潟 50 き 4567 4 20 1 12

④ 標識記号 新潟 一郎

⑤ 標識番号 新潟市中央区学校町通1-602-1

④ 標識記号 新潟 一郎

⑤ 標識番号 新潟市中央区白山浦1-123-4

白山 三郎

更新区分「3」はこの④か⑤どちらかをパンチ。
通常は④を採用。⑤を採用する場合は上記のように④に消込線を引き、⑤を赤で○マークする。
採用した方を④、⑤入力

更新区分「3」の帳票はこれ以外のパンチ項目はありません。
「0」で埋めるや「空白」等はパンチレイアウトに準

全国軽自動車協会連合会
新潟県軽自動車協会
受
20. 1. 12
付

新潟市 軽自動車税車両異動申告書のパンチ項目解説書（その2）

軽自動車税 水色の申告書

車種：06・07・08・09・10

申告書（申告・報告）欄

更新区分 3 車種 06 標識番号コード 42022030000156

新 潟 5 8 0 あ 1 2 3 4

新 潟 5 0 き 4 5 6 7 4

新 潟 一 郎

新 潟 市 中 央 区 白 山 浦 1-123-4

白 山 三 郎

更新区分「3」はこの④か⑤どちらかのパンチ。通常は④を採用し、⑤の場合は、上記のとおり④に消込線を引き、

「更新区分」「車種」「標識番号コード」はパンチ束毎に分け、表紙に明記。束はすべて同じ内容のパンチとなる。

軽自動車税 水色の申告書

新 潟 市 中 央 区 白 山 浦 1-123-4

白 山 三 郎

更新区分「3」の帳票はこれ以外のパンチ項目はありません。「0」で埋めるや「空白」等はパンチレイアウトに準

廃車申告のイメージ番号はシステムの都合により小さいフォントとなる

更新区分「3」の帳票はこれ以外のパンチ項目はありません。「0」で埋めるや「空白」等はパンチレイアウトに準

F I L E 名 ZJ.IDODATA	
レコード長 4 9 8	ブロック長 4 9 8 0
備 考 <div>市民税賦課システム(軽自動車税)</div> <div>※尚、本パンチ指示は、車種:②の中で「05 軽二輪」「14 二輪」かつ更新区分「5」転入で適用する。</div>	

パンチ指示			指 示 の 意 味			パンチ指示			指 示 の 意 味										
パ ン チ 指 示	1	H Z	項目の左空白部分を“0”でうめる。			11	記入どうりパンチ			記入されているどりにパンチする。									
	2	B S	項目の内容を前づめでパンチし、残った部分を“スペース”で流す。			12	D U P			指示に従って項目を自動的に複写する。									
	3	H S	項目の左空白部分を“スペース”でうめる。			13	<table><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr></table>						5	5	5	項目の下に書いてある文字、記号をそのままパンチする（例では3カラムに“5”をパンチする）			
5	5	5																	
4	S P	その項目を全カラム“スペース”でうめる。			14	<table><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr></table>							5	5	5	5	指示する範囲を示す。（例では4カラム目から6カラム目まで。）		
5	5	5	5																
指 示 記 入 要 領	5	0 = 0	項目に0が記入されていたらその項目の全カラムを“0”でうめる。			15				その他特殊な指示は簡潔明瞭な説明文を付ける。									
	6	B = S P	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“スペース”でうめる。			パンチ指示決定時の注	1. パンチ方法決定の前に、その方法についてデータ管理課と打ち合わせること。												
	7	<table><tr><td>┌───┐</td></tr><tr><td> * </td></tr><tr><td>└───┘</td></tr></table>	┌───┐	*	└───┘		この記号のある項目に、記入がない場合不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。（B = 不明の意）（注）標示は必ず項目の上にする。			2. HZ、BS、B = S P が最も好ましいので、これを基本とする。									
	┌───┐																		
*																			
└───┘																			
8	0 = 不明	項目に0が記入されている場合、不明扱いとし「パンチせず」の“付箋”を貼る。			3. HS は、できる限り避ける。														
要 領	9	B = 0	項目に記入がない場合、その項目の全カラムを“0”でうめる。			4. B = 0 はむやみに使わず、データ量、記入の傾向、パンチ機械の種類を考慮した上で決定する。													
	10	前づめ	項目内の途中から記入されている場合、その項目の先頭カラムまで前につめてパンチする。			5. 漢字パンチの際は、U S A G E 欄に“A”又は“K”のモードの別を記入する。													
						6. 漢字パンチの際、区切が必要な部分には“区切”と記入する。													
						7. 漢字パンチの際、誌コードの終了を“K S T O P”で表す。													

新潟市	
PUNCH LAYOUT FORM	
コード 114	軽自動車税
コード 101	
ファイル名	ZJ. IDODATA
1 頁 = 2 / 2	
作成日	2025年09月18日
担当者	富士通 J a p a n

I F O R M N O 1 0 8		U S A G E																																																																																																					
軽自動車税 車両異動データ		I T E M	旧所有者氏名 ㊟																																																		旧使用者住所 ㊟																																																		
RL 4 9 8	BF 1 0	T A G	2 5																																																																																																				
CARD NAME		パ ン チ 指 示	BS B = S P																																																																																																				
CARD NO																																																																																																							
NOTES																																																																																																							
角 5 5、全角 1 8 5																																																																																																							

I F O R M N O		U S A G E																																																																																																				
		I T E M	旧使用者住所 ㊟																																																		旧使用者氏名 ㊟																																																	
RL	BF	T A G	5 0																																																																																																			
CARD NAME		パ ン チ 指 示	BS B = S P																																																																																																			
CARD NO			BS B = S P																																																																																																			
NOTES																																																																																																						

I F O R M N O		U S A G E																																																																																																				
		I T E M																																																																																																				
RL	BF	T A G																																																																																																				
CARD NAME		パ ン チ 指 示																																																																																																				
CARD NO																																																																																																						
NOTES																																																																																																						

軽自動車税車両異動台帳

申告年月	
平成	
年	月

数量	No.
	/

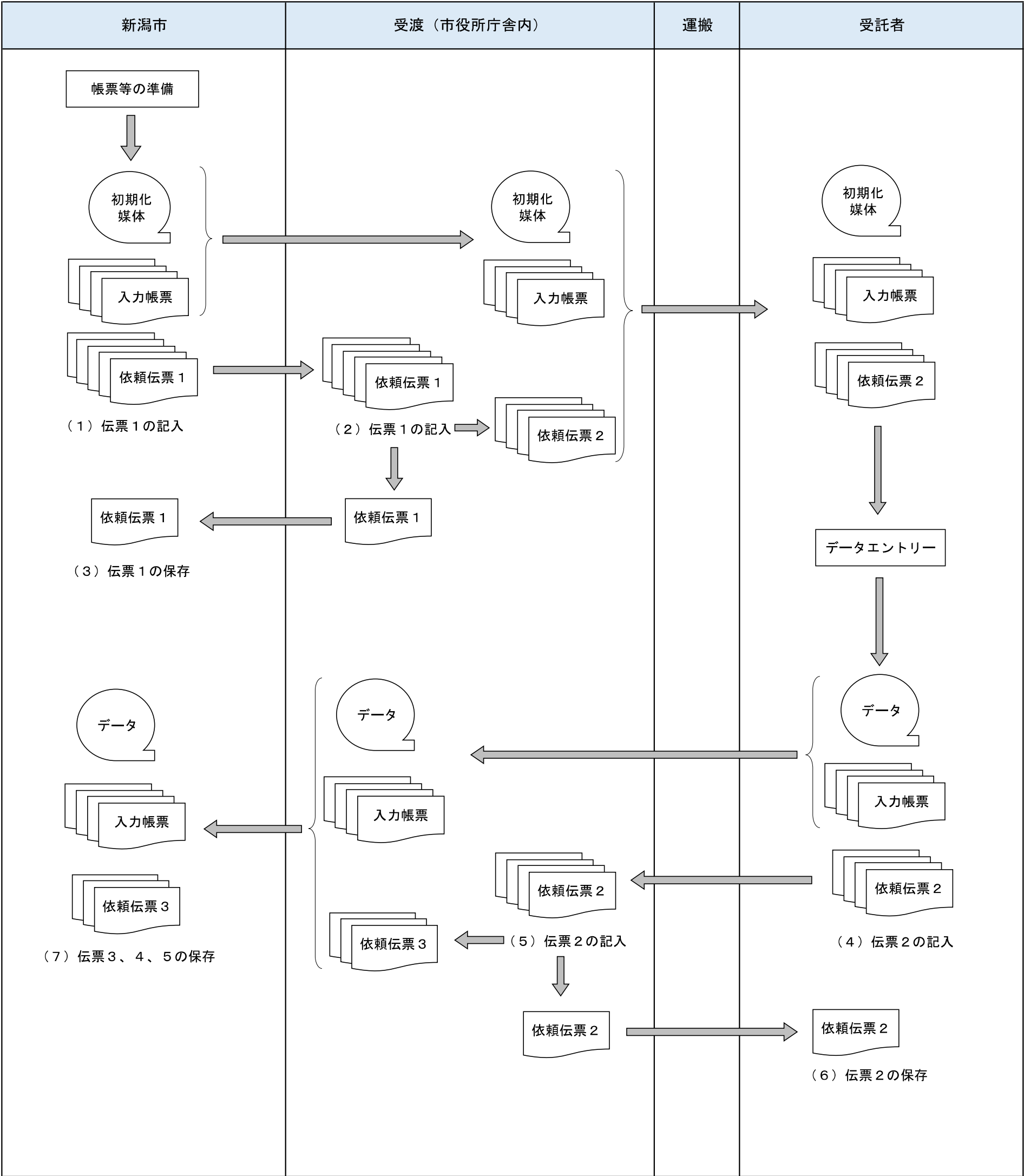
コード	
補記	
スキャナ	
チェック	
エラー	

更新区分
① 5

車種
② 0 5 or 1 4

標識番号コード
③

新潟



- 【伝票の記入について（伝票は5枚複写。2～5枚目は同じレイアウト）】
- （1）本市が「依頼日（入力票引渡日）」「入力票受領者名」以外の全ての項目を記入。（「依頼欄の枚数」は記入不要。）
 - （2）受託者が「依頼日（入力票引渡日）」「入力票受領者名」を記入。
 - （3）本市が1枚目を保存。
 - （4）受託者が「納品欄の記録数」「備考」「エントリー開始日」「エントリー終了日」「エントリー者名」「媒体名」を記入。（「納品欄の枚数」は記入不要。）
 - （5）本市が「入力票返却受領日」「入力票返却受領者名」を記入。
 - （6）受託者が2枚目を保存。
 - （7）本市が3枚目、4枚目、5枚目を保存。

予定数量

資料 3

文字数の合計	半角/英数/カナ	全角
総合計	201,075,580	2,351,400
個人市県民税	159,597,380	0
法人市民税	31,589,700	986,000
軽自動車税	9,888,500	1,365,400

【内訳】					【レコード数】																
No	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	文字数		1レコードあたりの平均文字数		令和7年度												
					半角/英数/カナ	全角	半角/英数/カナ	全角	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	8,220,000	0	150	0												10000	10000
2	個人市県民税	112	102	給与支払報告書	120,884,400	0	164	0												20000	20000
3	個人市県民税	112	103	年金支払報告書	156,980	0	94	0												240	240
4	個人市県民税	112	105	確定申告書	30,336,000	0	192	0												19000	19000
5	法人市民税	113	221	申告書2 0号様式	27,805,200	986,000	282	10												1600	1600
6	法人市民税	113	222	申告書2 0号の3様式	3,571,200	0	144	0												400	400
7	法人市民税	113	223	申告書2 2号の3様式	213,300	0	79	0													0
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	1,039,500	302,400	55	16												600	600
9	軽自動車税	114	107	異動データ（三輪・四輪）	8,640,000	360,000	24	1												13000	13000
10	軽自動車税	114	108	車両異動データ（二輪／転入）	209,000	703,000	55	185										0	0	0	0

予定数量

文字数の合計	半角/英数/カナ	全角
総合計	201,075,580	2,351,400
個人市県民税	159,597,380	0
法人市民税	31,589,700	986,000
軽自動車税	9,888,500	1,365,400

【内訳】					【レコード数】																
No	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	文字数		1レコードあたりの平均文字数		令和8年度												
					半角/英数/カナ	全角	半角/英数/カナ	全角	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	8,220,000	0	150	0												13,000	13,000
2	個人市県民税	112	102	給与支払報告書	120,884,400	0	164	0	3,000	1,400								30,000	130,000	15,000	179,400
3	個人市県民税	112	103	年金支払報告書	156,980	0	94	0	120	150									150	150	570
4	個人市県民税	112	105	確定申告書	30,336,000	0	192	0	8,000											25,500	33,500
5	法人市民税	113	221	申告書2 0号様式	27,805,200	986,000	282	10	1,400	2,600	2,700	2,100	1,800	1,200	1,400	2,300	1,500	700	1,500	1,600	20,800
6	法人市民税	113	222	申告書2 0号の3 様式	3,571,200	0	144	0	400	500	400	300	400	400	400	1,000	500	300	400	400	5,400
7	法人市民税	113	223	申告書2 2号の3 様式	213,300	0	79	0	500	100											600
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	1,039,500	302,400	55	16	500	0	500	500	500	500	500	500	300	300	300	600	5,000
9	軽自動車税	114	107	異動データ（三輪・四輪）	8,640,000	360,000	24	1	8000	0	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	13000	79,500
10	軽自動車税	114	108	車両異動データ（二輪／転入）	209,000	703,000	55	185	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

予定数量

文字数の合計	半角/英数/カナ	全角
総合計	201,075,580	2,351,400
個人市県民税	159,597,380	0
法人市民税	31,589,700	986,000
軽自動車税	9,888,500	1,365,400

【内訳】					【レコード数】																
No	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	文字数		1レコードあたりの平均文字数		令和9年度												
					半角/英数/カナ	全角	半角/英数/カナ	全角	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	8,220,000	0	150	0												10,800	10,800
2	個人市県民税	112	102	給与支払報告書	120,884,400	0	164	0	3,000	1,400								30,000	130,000	15,000	179,400
3	個人市県民税	112	103	年金支払報告書	156,980	0	94	0	100	100									150	150	500
4	個人市県民税	112	105	確定申告書	30,336,000	0	192	0	8,000											25,500	33,500
5	法人市民税	113	221	申告書2 0号様式	27,805,200	986,000	282	10	1,400	2,600	2,700	2,100	1,800	1,200	1,400	2,300	1,500	700	1,500	1,600	20,800
6	法人市民税	113	222	申告書2 0号の3様式	3,571,200	0	144	0	400	500	400	300	400	400	400	1,000	500	300	400	400	5,400
7	法人市民税	113	223	申告書2 2号の3様式	213,300	0	79	0	500	100											600
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	1,039,500	302,400	55	16	500	0	500	500	500	500	400	400	200	200	200	400	4,300
9	軽自動車税	114	107	異動データ（三輪・四輪）	8,640,000	360,000	24	1	8000	0	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	13000	79,500
10	軽自動車税	114	108	車両異動データ（二輪／転入）	209,000	703,000	55	185	0	0	0	0	0	0	0	100	100	100	100	100	700

予定数量

文字数の合計	半角/英数/カナ	全角
総合計	201,075,580	2,351,400
個人市県民税	159,597,380	0
法人市民税	31,589,700	986,000
軽自動車税	9,888,500	1,365,400

【内訳】					【レコード数】																
No	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	文字数		1レコードあたりの平均文字数		令和10年度												
					半角/英数/カナ	全角	半角/英数/カナ	全角	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	8,220,000	0	150	0												10,500	10,500
2	個人市県民税	112	102	給与支払報告書	120,884,400	0	164	0	2,500	900								30,000	130,000	15,000	178,400
3	個人市県民税	112	103	年金支払報告書	156,980	0	94	0												180	180
4	個人市県民税	112	105	確定申告書	30,336,000	0	192	0	8,000											25,500	33,500
5	法人市民税	113	221	申告書2 0号様式	27,805,200	986,000	282	10	1,400	2,600	2,700	2,100	1,800	1,200	1,400	2,300	1,500	700	1,500	1,600	20,800
6	法人市民税	113	222	申告書2 0号の3様式	3,571,200	0	144	0	400	500	400	300	400	400	400	1,000	500	300	400	400	5,400
7	法人市民税	113	223	申告書2 2号の3様式	213,300	0	79	0	500	100											600
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	1,039,500	302,400	55	16	400	0	400	400	400	400	400	400	200	200	200	400	3,800
9	軽自動車税	114	107	異動データ（三輪・四輪）	8,640,000	360,000	24	1	8000	0	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	13000	79,500
10	軽自動車税	114	108	車両異動データ（二輪／転入）	209,000	703,000	55	185	100	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	1,200

予定数量

文字数の合計	半角/英数/カナ	全角
総合計	201,075,580	2,351,400
個人市県民税	159,597,380	0
法人市民税	31,589,700	986,000
軽自動車税	9,888,500	1,365,400

【内訳】					【レコード数】																
No	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	文字数		1レコードあたりの平均文字数		令和11年度												
					半角/英数/カナ	全角	半角/英数/カナ	全角	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	8,220,000	0	150	0												10,500	10,500
2	個人市県民税	112	102	給与支払報告書	120,884,400	0	164	0	2,500	900								30,000	130,000	15,000	178,400
3	個人市県民税	112	103	年金支払報告書	156,980	0	94	0												180	180
4	個人市県民税	112	105	確定申告書	30,336,000	0	192	0	8,000											25,500	33,500
5	法人市民税	113	221	申告書2 0号様式	27,805,200	986,000	282	10	1,400	2,600	2,700	2,100	1,800	1,200	1,400	2,300	1,500	700	1,500	1,600	20,800
6	法人市民税	113	222	申告書2 0号の3様式	3,571,200	0	144	0	400	500	400	300	400	400	400	1,000	500	300	400	400	5,400
7	法人市民税	113	223	申告書2 2号の3様式	213,300	0	79	0	500	100											600
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	1,039,500	302,400	55	16	400	0	400	400	400	400	400	400	200	200	200	400	3,800
9	軽自動車税	114	107	異動データ（三輪・四輪）	8,640,000	360,000	24	1	8000	0	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	6500	13000	79,500
10	軽自動車税	114	108	車両異動データ（二輪／転入）	209,000	703,000	55	185	100	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	1,200

予定数量

文字数の合計	半角/英数/カナ	全角
総合計	201,075,580	2,351,400
個人市県民税	159,597,380	0
法人市民税	31,589,700	986,000
軽自動車税	9,888,500	1,365,400

【内訳】					【レコード数】																
No	業務名	業務コード	帳票コード	入力帳票名	文字数		1レコードあたりの平均文字数		令和12年度												
					半角/英数/カナ	全角	半角/英数/カナ	全角	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	個人市県民税	112	101	市県民税申告書	8,220,000	0	150	0													0
2	個人市県民税	112	102	給与支払報告書	120,884,400	0	164	0	1,500												1,500
3	個人市県民税	112	103	年金支払報告書	156,980	0	94	0													0
4	個人市県民税	112	105	確定申告書	30,336,000	0	192	0	5,000												5,000
5	法人市民税	113	221	申告書2 0号様式	27,805,200	986,000	282	10	1,000	2,200	2,200	1,800	1,500	1,000	1,100	1,800	1,200				13,800
6	法人市民税	113	222	申告書2 0号の3様式	3,571,200	0	144	0	300	400	300	200	300	300	300	600	100				2,800
7	法人市民税	113	223	申告書2 2号の3様式	213,300	0	79	0	300												300
8	軽自動車税	114	106	異動データ（二輪）	1,039,500	302,400	55	16	200	0	200	200	200	200	200	200					1,400
9	軽自動車税	114	107	異動データ（三輪・四輪）	8,640,000	360,000	24	1	5000	0	4000	4000	4000	4000	4000	4000					29,000
10	軽自動車税	114	108	車両異動データ（二輪／転入）	209,000	703,000	55	185	100	0	100	100	100	100	100	100					700

媒体仕様書

○ 光磁気ディスク（MO）

- ・サイズは 3.5 インチとする。
- ・容量は 640MB とする。

○ USB メモリ

- ・自動的に暗号化する機能を搭載していること。
- ・Windows10 及び Windows11 に対応していること。
- ・USB3.0 に対応していること。
- ・次の製品と同等以上の機能を有すること。
 - ・ RUF3-HSL4GEV5
 - ・ ED-VT4/4G5

○ CD

- ・容量は 700MB とすること。
- ・使用できる規格は次のとおり。
 - ・ CD-R / CD-RW

○ DVD

- ・容量は 4.7GB とすること。
- ・使用できる規格は次のとおり。
 - ・ DVD-R / DVD-RW / DVD+R / DVD+RW

委託料の計算

委託料は「レコード単価」に納品するレコード数を乗じた金額（入力帳票毎に 1 円未満の端数切捨て）に消費税及び地方消費税を加算した金額とする。

※ レコード単価：「資料 1 入力帳票仕様書」に定める平均文字数に、半角英数カナ文字及び全角文字の単価を乗じて合計した金額

計算の例

○ 半角英数カナ文字の単価を 9.99 円、全角文字の単価を 99.99 円とする

帳票コード	入 力 帳 票 名	文字数		依 頼		納 品		備 考
		半角	全角	枚 数	レコード数	枚 数	レコード数	
123	入力帳票 A	12	34		111		110	不作成1
789	入力帳票 B	43	21		88		88	

○ 入力帳票 A

$$\text{レコード単価} = 12 \text{ 文字} \times 9.99 \text{ 円} + 34 \text{ 文字} \times 99.99 \text{ 円} = 3,519.54 \text{ 円}$$

$$\text{入力帳票 A の金額} = \text{レコード単価} \times 110 \text{ 件} = 387,149 \text{ 円 (1 円未満切捨)}$$

○ 入力帳票 B

$$\text{レコード単価} = 43 \text{ 文字} \times 9.99 \text{ 円} + 21 \text{ 文字} \times 99.99 \text{ 円} = 2,529.36 \text{ 円}$$

$$\text{入力帳票 B の金額} = \text{レコード単価} \times 88 \text{ 件} = 222,583 \text{ 円 (1 円未満切捨)}$$

○ 委託料

$$\text{入力帳票 A 金額} + \text{入力帳票 B の金額} + \text{消費税及び地方消費税} = 670,705 \text{ 円}$$

賃金の変動に基づく契約金額の変更に係る
特約条項第 1 条第 1 項に係る特記仕様書

本委託業務は賃金の変動に基づく契約金額の変更に係る特約条項第 1 条第 1 項を適用する契約である。

- 1 変動の対象となる経費は、未履行業務に対応する直接人件費に相当する額とし、本委託業務における直接人件費とは、受託者が本委託業務に直接従事する者に、本委託業務に従事した対償として支払う、労働基準法（昭和 22 年 4 月 7 日法律第 49 号）第 11 条に規定する賃金をいう。

なお、本委託業務に直接従事する者に対する健康保険、厚生年金保険、労働保険等の事業者負担額及び児童手当拠出金等の法定福利費は、変動の対象とはならない。

- 2 本委託業務における賃金水準は、新潟県最低賃金（以下「最低賃金」という。）とする。

- 3 本契約の変更金額は、本契約締結時に受託者から提出された「資料 7 契約金額内訳書」により算出する。

契約金額 内訳書

資料 7

委託業務名	新潟市確定申告書等データエントリー業務
契約全体の月数	ヵ月

※黄色のセルに入力

番号	項目	金額	内容
①	直接人件費		直接業務に従事する者に係る給与
②	直接物品費		直接業務に従事する者が業務を行うのに必要な物品を消費することによって発生する費用
③	業務管理費		業務を実施するうえで、現場業務を管理運営するために必要な①②以外の費用
④	一般管理費等		企業を維持経営していくために必要な①～③以外の費用で、一般管理費及び営業利益
⑤	合計（税抜き）	0	①～④の合計額
⑥	消費税相当額	0	⑤×10%（1円未満端数切捨て）
⑦	合計（税込み）	0	⑤+⑥

エントリー依頼・納品伝票

業務コード	業務名	ファイル名
担当課名	担当者名・内線 ()	完了希望日 20 年 月 日 AM PM :

帳票コード	入 力 帳 票 名	文字数		依 頼	
		半角	全角	枚 数	レコード数

依頼（入力票引渡）日 20 年 月 日 AM PM :	入力票受領者名
-----------------------------------	---------

1 担当課控

エントリー依頼・納品伝票

業務コード	業務名	ファイル名	媒体名	媒体受領日 20 年 月 日 AM PM :	媒体受領者名
担当課名	担当者名・内線 ()	完了希望日 20 年 月 日 AM PM :	入力票返却受領日 20 年 月 日 AM PM :	入力票返却受領者名	

帳票コード	入 力 帳 票 名	文字数		依 頼		納 品		備 考
		半角	全角	枚 数	レコード数	枚 数	レコード数	

エントリー開始日 20 年 月 日 AM PM :	エントリー終了日 20 年 月 日 AM PM :	エントリー者名	依頼（入力票引渡）日 20 年 月 日 AM PM :	入力票受領者名
------------------------------	------------------------------	---------	--------------------------------	---------

2 担当課 → エントリー業者 → 担当課 → IT推進課 → エントリー業者控

エントリー依頼・納品伝票

業務コード	業務名	ファイル名	媒体名	媒体受領日 20 年 月 日 AM : PM :	媒体受領者名
担当課名	担当者名・内線 ()	完了希望日 20 年 月 日 AM : PM :	入力票返却受領日 20 年 月 日 AM : PM :	入力票返却受領者名	

帳票コード	入 力 帳 票 名	文字数		依 頼		納 品		備 考
		半角	全角	枚 数	レコード数	枚 数	レコード数	

エントリー開始日 20 年 月 日 AM : PM :	エントリー終了日 20 年 月 日 AM : PM :	エントリー者名	依頼（入力票引渡）日 20 年 月 日 AM : PM :	入力票受領者名
-----------------------------------	-----------------------------------	---------	-------------------------------------	---------

3 担当課 → エントリー業者 → 担当課控

エントリー依頼・納品伝票

業務コード	業務名	ファイル名	媒体名	媒体受領日 20 年 月 日 AM PM :	媒体受領者名
担当課名	担当者名・内線 ()	完了希望日 20 年 月 日 AM PM :	入力票返却受領日 20 年 月 日 AM PM :	入力票返却受領者名	

帳票コード	入 力 帳 票 名	文字数		依 頼		納 品		備 考
		半角	全角	枚 数	レコード数	枚 数	レコード数	

エントリー開始日 20 年 月 日 AM PM :	エントリー終了日 20 年 月 日 AM PM :	エントリー者名	依頼（入力票引渡）日 20 年 月 日 AM PM :	入力票受領者名
------------------------------	------------------------------	---------	--------------------------------	---------

4 担当課 → エントリー業者 → 担当課 → IT推進課控

エントリー依頼・納品伝票

業務コード	業務名	ファイル名	媒体名	媒体受領日 20 年 月 日 AM PM :	媒体受領者名
担当課名	担当者名・内線 ()	完了希望日 20 年 月 日 AM PM :	入力票返却受領日 20 年 月 日 AM PM :	入力票返却受領者名	

帳票コード	入 力 帳 票 名	文字数		依 頼		納 品		備 考
		半角	全角	枚 数	レコード数	枚 数	レコード数	

エントリー開始日 20 年 月 日 AM PM :	エントリー終了日 20 年 月 日 AM PM :	エントリー者名	依頼（入力票引渡）日 20 年 月 日 AM PM :	入力票受領者名
------------------------------	------------------------------	---------	--------------------------------	---------

5 担当課 → エントリー業者 → 担当課 → IT推進課控

令和5年5月					データエントリー業務 スケジュール表																															
業務 コード	帳票 コード	入力帳票名	半角 全角		1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
112	101	市県民税申告書	150	枚数																																
				引渡																																
			0	納品日																																
				時刻																																
112	102	給与支払報告書	164	枚数	<div>枚数 : 引き渡す帳票の帳票の枚数</div> <div>引渡 : 引き渡す時刻</div> <div>納品日 : 引き渡した帳票をデータ化した情報の納品日</div> <div>時刻 : 納品の時刻</div>																															
				引渡																																
			0	納品日																																
				時刻																																
112	103	年金支払報告書	94	枚数																																
				引渡																																
			0	納品日																																
				時刻																																
112	105	確定申告書	192	枚数										100																						
				引渡											17:00																					
			0	納品日											12																					
				時刻											10:00																					
113	221	申告書20号様式	282	枚数																																
				引渡																																
			10	納品日																																
				時刻																																
113	222	申告書20号の3様式	144	枚数																																
				引渡																																
			0	納品日																																
				時刻																																
113	223	申告書22号の3様式	79	枚数										20								50														
				引渡										10:00								10:00														
			0	納品日										17								17														
				時刻										17:00								17:00														
114	102	減免異動データ	33	枚数																																
				引渡																																
			0	納品日																																
				時刻																																
114	106	異動データ（二輪）	55	枚数																																
				引渡																																
			16	納品日																																
				時刻																																
114	107	異動データ （三輪・四輪）	24	枚数																																
				引渡																																
			1	納品日																																
				時刻																																

※原則、木曜日までに引き渡した帳票を月曜日に納品すること

新潟市確定申告書等データエントリー業務委託契約書（案）

新潟市（以下「甲」という。）と〇〇〇〇〇〇〇〇〇（以下「乙」という。）は、甲が乙に委託する「新潟市確定申告書等データエントリー業務」について、次のとおり請負契約（以下「本契約」という。）を締結する。

1 委託業務の名称

「新潟市確定申告書等データエントリー業務」（以下「本業務」という。）

2 委託業務の内容

別紙「新潟市確定申告書等データエントリー業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）のとおりに。

3 履行場所

甲の指定する場所

4 履行期間

契約締結の日から令和 12 年 12 月 31 日 まで

5 契約単価

別表「単価」のとおりに。

6 契約保証金

新潟市契約規則第 3 4 条により契約保証金は免除する。

7 契約条項

別紙「新潟市確定申告書等データエントリー業務委託契約書 契約条項」のとおりに。

本契約を証するため本書 2 通を作成し、甲乙両者が記名押印の上、各自 1 通を保有するものとする。

令和 7 年〇〇月〇〇日

甲 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1
新 潟 市
代表者 新潟市長 中原 八一 印

乙

印

別表 単価

単価

対象文字	単価（1文字）	予定数量（文字数）		
		令和7年度	令和8年度	令和9年度
半角英数カナ	000.00 円	9,304,360 文字	46,730,780 文字	46,394,200 文字
全角	000.00 円	38,600 文字	367,500 文字	485,800 文字

対象文字	単価（1文字）	予定数量（文字数）		
		令和10年度	令和11年度	令和12年度
半角英数カナ	000.00 円	46,155,120 文字	46,155,120 文字	6,336,000 文字
全角	000.00 円	570,300 文字	570,300 文字	318,900 文字

新潟市確定申告書等データエントリー業務委託契約書 契約条項

(総則)

- 第1条 甲及び乙は、この契約条項（契約書を含む。以下同じ。）に基づき、仕様書等（別添の仕様書及び甲乙協議の上で作成するプロジェクト計画書等の関連資料をいう。以下同じ。）に従い、日本国の法令及び新潟市の条例・規則等を遵守し、この契約（この契約条項及び仕様書等を内容とする契約をいう。以下同じ。）を履行しなければならない。なお、この契約の条項と仕様書等に定める事項が重複、抵触、矛盾する場合、又はこの契約に規定がなく仕様書等に規定がある場合は、仕様書等に定める事項が優先するものとする。
- 2 乙が委託された業務内容を履行するために必要な一切の手段については、この契約に特別の定めがある場合を除き、乙がその責任において定める。
- 3 乙は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後も同様とする。
- 4 乙は、この契約の履行に関して個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）を遵守し、個人の権利及び利益を侵害することのないよう個人情報を適正に扱わなければならない。
- 5 この契約条項に定める催告、請求、通知、報告、申出、承諾及び解除は、書面により行わなければならない。
- 6 この契約と他の契約（甲及び乙間の合意を指し、その名称を問わない。）の条項に矛盾があれば、この契約が優先する。
- 7 この契約の履行に関して甲乙間で用いる言語は、日本語とする。
- 8 この契約条項に定める金銭の支払に用いる通貨は、日本円とする。
- 9 この契約の履行に関して甲乙間で用いる計量単位は、仕様書等に特別の定めがある場合を除き、計量法（平成4年法律第51号）の定めるところによるものとする。
- 10 この契約における期間の定めについては、民法（明治29年法律第89号）、商法（明治32年法律第48号）及び政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）の定めるところによるものとする。
- 11 この契約は、日本国の法令に準拠するものとする。
- 12 この契約に係る訴訟については、甲の所在地を管轄する裁判所をもって合意による専属的管轄裁判所とする。

(契約の保証)

- 第2条 乙は、この契約締結と同時に、次の各号のいずれかに掲げる保証を付さなければならない。ただし、第4号の場合においては、履行保証保険契約の締結後、速やかにその保険証券を甲に寄託しなければならない。

(1) 契約保証金の納付

- (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供
 - (3) この契約による債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行又は甲が
確実と認める金融機関の保証
 - (4) この契約による債務の不履行により生ずる損害を填補する履行保証保険契約の締
結
- 2 前項各号の金員は、契約単価に予定数量を乗じた額の100分の10以上としなければならない。
- 3 第1項の規定により、乙が同項第2号又は第3号に掲げるいずれかの保証を付したときは、当該保証は契約保証金に代わる担保の提供として行われたものとし、同項第4号に掲げる保証を付したときは契約保証金の納付を免除する。
- 4 第1項の規定にかかわらず、この契約が新潟市契約規則（昭和59年新潟市規則第24号）第34条第3号、第4号、第6号又は第7号のいずれかに該当するときは、第1項各号に掲げる保証を付すことを免除する。
- 5 甲は、乙がこの契約の履行をしたときは、速やかに、第1項の規定により納付を受けた契約保証金又は同項の規定により寄託を受けた有価証券等若しくは金融機関等の保証書を乙に返還しなければならない。

（権利義務の譲渡等の制限）

第3条 乙は、甲の書面による承諾がなければ、この契約によって生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは承継させ、又は担保に供してはならない。

（特許権等の使用）

第4条 乙は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利（以下「特許権等」という。）の対象となっている材料、製造方法等を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。ただし、甲がその材料、製造方法等を指定した場合において、仕様書等に特許権等の対象である旨の明示がなく、かつ、乙がその存在を知らなかったときは、甲は、その使用に関して要した費用を負担しなければならない。

（再委託の禁止）

第5条 乙は、第三者に対し、業務の全部又は一部を再委託してはならない。ただし、あらかじめ甲の書面による承諾を受けたときはこの限りでない。

- 2 乙は、前項ただし書に基づき甲に再委託の承諾を求める場合は、再委託先の名称、所在地、再委託の業務内容、再委託の理由、取り扱う情報、再委託先に対する管理方法等を記載した再委託申請書を甲に提出しなければならない。
- 3 乙は、第1項ただし書に基づき再委託を行う場合は、再委託先の本業務に関する行為について、甲に対して全ての責任を負わなければならない。
- 4 乙は、第1項ただし書に基づき再委託を行う場合は、再委託先に秘密保持誓約書を提出

させた上で、この契約で定めた事項を遵守させなければならない。

- 5 乙は、前項により再委託先から提出された秘密保持誓約書を甲に提出しなければならない。

(作業場所)

第6条 乙は、本業務の実施上の必要性から甲の施設内で作業を行う必要があるときは、甲に作業場所の使用を要請することができる。この場合は、明確に甲の事務室と区分される場所とする。

- 2 甲は、乙から前項の要請があり、その必要性を認め、かつ、それが可能なときは、乙に使用上の条件を明示した上で、作業場所を有償又は無償により貸与する。
- 3 乙の作業従事者及び再委託先の作業従事者は、甲の施設内で本業務を実施する場合は、乙の社名入りネームプレートを着用しなければならない。

(資料等の提供、管理及び返還)

第7条 乙は、甲が所有する本業務の実施に必要な資料及び機器等（以下「原始資料等」という。）が必要なときは、甲に提供を要請することができる。

- 2 甲は、乙から前項の要請があり、その必要性を認め、かつ、それが可能なときは、乙に使用上の条件を明示した上で、原始資料等を無償で貸与又は開示等を行う。
- 3 乙は、甲から原始資料等の貸与を受けたときは、原始資料等の名称及び貸与を受けた日を記録した資料を甲に提出しなければならない。
- 4 乙は、甲から貸与を受けた原始資料等を甲の事前の承諾なしに複写又は複製してはならない。
- 5 乙は、甲から貸与を受けた原始資料等の使用を完了したとき、又はこの契約が解除されたときは、原始資料等を速やかに甲に返還し、又は甲の指示に従い破棄しなければならない。

(主任担当者の指定及び通知)

第8条 甲乙は、本業務の実施に関し、相手方と連絡及び調整を行う一元的な窓口となる主任担当者 をそれぞれ定め、書面により相手方に通知しなければならない。なお、主任担当者を変更したときも同様とする。

(直接対話の原則禁止)

第9条 甲乙は、本業務の実施に関し、相手方と対話する必要がある場合は、原則として、主任担当者を通じて行わなければならない。

(指揮命令)

第10条 乙は、本業務の実施に係わる乙の作業従事者及び再委託先の作業従事者に対する指示、労務管理、安全衛生等に関する一切の指揮命令を行わなければならない。

- 2 乙の本業務の作業場所が甲の施設内になる場合は、乙の作業従事者及び再委託先の作業従事者に対する服務規律、勤務規則等に関して、甲乙協議の上で決定する。

（事故等の報告）

第11条 乙は、この契約の履行に支障が生じるおそれがある事故の発生を知ったときは、その事故発生の帰責の如何に関わらず、直ちにその旨を甲に報告し、甲の指示のもと速やかに応急措置を加えた後、遅滞なく、詳細な報告及び今後の方針案を書面により甲に提出しなければならない。

（作業状況の報告等）

第12条 乙は、甲から事前の指示があるときは、本業務の進捗及び課題等の作業状況について、甲が求める時期及び内容に基づき、書面により甲に報告しなければならない。

2 乙は、甲から事前の指示があるときは、打ち合せ会議を開催しなければならない。

（履行の監督）

第13条 甲は、契約の履行中において、その適正な履行を確保するため、業務の実施状況について随時立会いその他の方法により監督し、又は乙に対して所要の報告若しくは資料の提出を求め、又は必要な指示をすることができる。

（一般的損害）

第14条 業務の実施に伴い生じた損害については、乙がその費用を負担する。ただし、その損害の発生が甲の責めに帰すべき事由による場合はこの限りでない。

（第三者に及ぼした損害）

第15条 業務の実施に伴い第三者に損害を及ぼしたときは、乙は甲に速やかに報告するものとし、乙がその損害を賠償しなければならない。ただし、その損害のうち甲の責めに帰すべき事由により生じたものについては、甲が負担する。

2 前項の規定、又はその他の事項について第三者との間に紛争が生じた場合は、甲乙協力してその処理、解決に当たるものとする。

（成果物の納入）

第16条 乙は、仕様書等又は甲乙協議の上で書面により定めた、乙が甲に納入すべきこの契約の目的物（以下「成果物」という。）を納入期日までに甲の指定した場所に納入しなければならない。

（第三者の権利の使用）

第17条 乙は、全ての成果物が第三者の著作権、特許権その他の権利を侵害しないよう細心の注意を払わなくてはならない。

2 乙は、本業務の結果に関し、乙の責に帰すべき事由により第三者から著作権又は工業所有権の侵害の申し立てが甲になされた場合、甲が次の各号の全ての対応をとることを条件として、甲に代わってこれを解決するものとし、解決に要した費用を負担する。

（1） 甲が申し立てを受けた日から14日以内に乙に事実及び内容を通知すること。

（2） 申し立てに関する調査、解決について乙に全面的に協力すること。

（3） 解決についての決定権限を乙に与えること。

(情報セキュリティポリシーの遵守)

第18条 乙は、本業務の実施に関し、新潟市情報セキュリティポリシーを遵守するとともに、別記1「情報セキュリティに関する要求事項」を遵守しなければならない。

(個人情報の保護)

第19条 乙は、本業務の実施に関し、個人情報（行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第58号）第2条第2項に定めるもの及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第3項に定めるものをいう。）を取り扱う場合は、その保護の重要性を認識の上、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（行政機関等・地方公共団体等編）を遵守するとともに、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守し、個人の権利及び利益を侵害してはならない。

(秘密の保持)

第20条 甲乙は、この契約の履行上知り得た相手方の秘密情報（甲乙が相手方に開示する一切の情報であって、公に入手できない情報をいう。）を第三者に開示又は漏洩してはならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合はこの限りではない。

- (1) 開示を受けた際に、被開示者が既に所有していたもの。
- (2) 開示を受けた際に、既に公知であったもの。
- (3) 開示を受けた後に、被開示者の責によらずに公知となったもの。
- (4) 被開示者が、この契約の相手方又は第三者から守秘義務を伴わずに適法に取得したものの。
- (5) 被開示者が、開示を受けた情報によらずに独自に開発したものの。
- (6) 法令又は裁判所若しくは行政機関からの命令により開示することを義務付けられたものの。

2 乙は、本業務を実施する乙の作業従事者及び再委託先の作業従事者に対し、前項の義務を遵守させるための秘密保持契約を締結するなど必要な処置を講じなければならない。

(情報の目的外使用の禁止)

第21条 乙は、前条第1項の秘密情報であるかを問わず、この契約の履行上知り得た情報を甲の事前の承諾なしにこの契約の目的外に使用してはならない。

(プロダクトの権利関係)

第22条 この契約に基づき乙が甲に納品するプロダクト（システムを構成する「プログラム」及び「関連資料」を包括して言い、技術サービスに基づき将来提供される改訂版、改良版等も含む。）の使用権等の取り扱いは、次の各号によるものとする。

- (1) 乙は、甲に対しプロダクトを甲の業務の遂行の目的だけに使用するための譲渡不能非独占的使用権を許諾する。甲は、この契約に基づきプロダクトの使用権を取得し、プロダクトの著作権を取得しない。

- (2) 甲は、プロダクトを甲の使用目的が存続する間使用することができる。
- (3) 甲は、機械読取可能な形式か、又は印刷物として提供されたかを問わず、プロダクトを自己使用のため必要な場合に限り、複製することができる。
- (4) 甲は、プロダクトの使用目的が消滅した場合は、乙の指示に従い直ちにプロダクトの原本及び複製物の全てを自らの責任において処分する。
- (5) 甲は、乙の書面による事前の承諾がない限り、この契約に基づく使用权につき再使用权を設定し、若しくは第三者に譲渡し、又はプロダクト若しくはその複製物を第三者に譲渡転貸し、若しくは占有の移転をしてはならず、また、この契約上の地位を第三者に譲渡してはならない。
- (6) 甲は、プロダクトを変更することはできない。ただし、プロダクトの権利者から許諾が得られたときは、自己使用のため必要な場合に限りプロダクトを変更することができる。
- (7) プログラムに付属する使用許諾条件等がある場合には、当該条件等がこの契約に優先して適用されるものとする。

(著作権の譲渡等)

第23条 甲乙協議の上で書面により定めた事項に基づき、乙が甲のために作成したドキュメント類の著作権等の取り扱いは、前条に関わらず、次の各項の規定による。ただし、甲は、乙に対し次の各号に掲げる成果物について、この契約の目的の範囲内において、無償で使用し、再委託先に再使用許諾することができる権利を許諾する。

- 2 乙は、著作権法(昭和45年法律第48号)第21条(複製権)、第26条の2(譲渡権)、第26条の3(貸与権)、第27条(翻訳権・翻案権等)及び第28条(二次著作物の利用に関する原作者の権利)に規定する権利を、甲に無償で譲渡する。
- 3 甲は、著作権法第20条(同一性保持権)第2項第3号又は第4号に該当しない場合においても、その使用のために、成果物を改変し、また、任意の著作者名で任意に公表することができる。
- 4 乙は、甲の書面による事前の同意を得なければ、著作権法第18条(公表権)及び第19条(氏名表示権)を行使することができない。

(履行届書の提出)

第24条 乙は、前月に完了した業務の成果に関する報告書(以下「履行届書」という。)を速やかに甲に提出しなければならない。

(検査)

第25条 甲は、履行届書を受領したときは、業務の成果について、その日から起算して10日以内に乙の立会いを求めて検査を行うものとし、乙が立ち会わないときは、立会いを得ずにこれを行うことができる。ただし、これらの期間の末日が休日であるときは、その翌日(その翌日が休日であるときは順延した日)を末尾とする。

- 2 甲は、前項の検査に不合格となった業務の成果について、業務の再履行又は委託料の減額を求めることができる。この場合においては、第31条の規定を準用する。
- 3 乙は、前項により業務の再履行の請求があったときは、甲の指定する期間内にその指示に従いこれを履行しなければならない。この場合においては、前条及び第1項の規定を準用する。
- 4 第1項（前項後段において準用する場合を含む。）の検査に要する費用は全て乙の負担とする。

（引渡し）

第26条 業務の成果が物の引渡しを伴うものである場合、乙は、成果物を履行場所に納入したときは、直ちにその旨を甲に通知しなければならない。

- 2 成果物の検査については、前条の規定を準用する。
- 3 甲は、成果物が前項の検査（第6項の検査をしたときは、同項の検査。以下これらを「検査」という。）に合格したときは、その引渡しを受けるものとする。
- 4 成果物の所有権は、前項の引渡しを受けた時に、乙から甲に移転するものとする。
- 5 甲は、検査に不合格となった成果物について、成果物の修補、代替物の納入、不足分の納入又は委託料の減額を乙に求めることができる。この場合においては、第31条の規定を準用する。
- 6 乙は、前項の成果物の修補、代替物の納入又は不足分の納入をしたときは、直ちにその旨を甲に通知しなければならない。この場合における検査は、第2項の定めるところによるものとし、その後の手続については、第3項から前項までの規定を準用する。

（不合格品の引取り）

第27条 乙は、検査の結果、不合格とされた成果物については、甲が指定した期間内に、自己の負担により、履行場所から搬出しなければならない。

- 2 甲は、乙が前項の規定に違反した場合は、乙の負担により、同項の成果物を返送し、又は処分することができる。この場合において、甲は、同項の成果物の滅失、損傷等について責めを負わないものとする。

（委託料の支払）

第28条 乙は、第25条で規定する検査に合格したときは、書面をもって当該委託料の支払を請求するものとする。

- 2 甲は、前項の規定による請求を受けたときは、その日から起算して30日以内に当該委託料を支払わなければならない。
- 3 甲が第1項の規定による請求を受けた後、その請求の内容の全部又は一部が不当であることを発見したときは、甲はその事由を明示して、その請求を拒否する旨を乙に通知するものとする。この場合において、その請求の内容の不当が軽微な過失によるときは、当該請求の拒否を通知した日から甲が乙の不当な内容を改めた請求書を受領した日までの

期間は第2項の期間に参入しないものとし、その請求の内容の不当が乙の故意又は重大な過失によるときにあっては、請求があったものとししないものとする。

- 4 乙は、甲の責めに帰すべき事由により、第2項に規定する期間内に請求金額を支払わなかったときは、当該請求金額に政府契約の支払遅延防止等に関する法律第8条の規定により財務大臣が決定する率を乗じて得た額の遅延利息を請求することができる。

(履行期限の延長)

第29条 乙は、災害その他の乙の責めに帰することができない事由により履行期限までにその義務を履行することができないときは、速やかに、その事由を明記した書面により、甲に履行期限の延長を申し出なければならない。

- 2 甲は、乙の責めに帰すべき事由により履行期限までに履行することができないときは、履行遅延の事由、履行可能な期限その他必要な事項を明記した書面の提出を求めることができる。
- 3 前2項に規定する場合において、甲は、その事実を審査し、やむを得ないと認めるときは、甲乙協議の上、履行期限を延長するものとする。

(履行遅滞の場合における違約金等)

第30条 乙の責めに帰すべき事由により履行期限までに業務の履行ができない場合は、甲は、乙に対し、違約金の支払を請求することができる。

- 2 前項の違約金の額は、特に約定がある場合を除き、甲の指定する日の翌日を起算日として検査に合格する日までの日数（検査に要した日数を除く。以下「遅延日数」という。）に応じ、遅延日数1日につき契約単価に予定数量を乗じた額の1,000分の1に相当する額とする。ただし、履行期限までに既に業務の一部を履行しているときは、その部分に相当する委託料の額を契約単価に予定数量を乗じた額から控除した額を契約金額として計算した額とする。
- 3 第1項の違約金は、委託料の支払時に控除し、又は契約保証金が納付されているときは、これをもって違約金に充てることができる。この場合において、なお当該違約金の額に満たないときは、当該額に満つるまでの額の支払を請求するものとする。

(契約不適合責任)

第31条 業務の成果が種類、品質又は数量に関してこの契約の内容に適合しないものであるとき（以下「契約不適合」という。）は、甲は、乙に対し、期間を指定して、業務の再履行又は委託料の減額を求めることができる。

- 2 乙が前項の規定による業務の再履行に応じないときは、甲は、乙の負担により第三者に業務を履行させることができる。
- 3 前2項の請求は、契約不適合が甲の責めに帰すべき事由によるものであるときは、することができる。
- 4 甲は、契約不適合を知った時から1年以内にその旨を乙に通知しないときは、第1項及

び第2項の請求をすることができない。ただし、乙が履行届書の提出の時に契約不適合を知り、又は重大な過失によって知らなかったときは、この限りでない。

5 第1項及び第2項の請求について、民法第562条第1項ただし書は適用しないものとする。

6 第1項及び第2項の請求は、甲の乙に対する損害賠償の請求を妨げるものではない。

(契約の変更)

第32条 甲は、仕様書等の要求事項を変更する必要があると認めたときは、遅滞なく乙に連絡し、甲乙協議の上で書面により要求事項を変更することができる。

2 前項の要求事項の変更において、契約単価、履行期間その他の契約内容を変更する必要があるときは、甲乙協議の上で変更契約を締結する。

(甲の解除権)

第33条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当する場合は、相当の期間を定めて催告をし、その期間内に履行がないときは、この契約を解除することができる。

(1) 履行期限までにこの契約を履行しないとき又は履行の見込みがないと認められるとき。

(2) 正当な事由がないのに定められた期日までにこの契約の履行に着手しないとき。

(3) 乙又はその代理人、支配人その他の使用人が甲の職員の監督又は検査に際してその職務の執行又は指示を拒み、妨げ、又は忌避したとき。

2 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の催告をすることなく、直ちにこの契約を解除することができる。

(1) この契約の締結又は履行について、不正があったとき。

(2) 一般競争入札又は指名競争入札に参加する者に必要な資格その他この契約の相手方として必要な資格を失ったとき。

(3) 自己振出の手形又は小切手が不渡処分を受ける等の支払停止状態となったとき。

(4) 差押え、仮差押え、仮処分若しくは競売の申立てがあったとき、又は租税滞納処分を受けたとき。

(5) 破産手続開始、会社更生手続開始若しくは民事再生手続開始の申立てがあったとき、又は清算に入ったとき。

(6) 解散又は営業の全部若しくは重要な一部を第三者に譲渡しようとしたとき。

(7) 下請代金支払遅延等防止法（昭和31年法律第120号）第6条に基づき、中小企業庁長官が公正取引委員会に対して適当な措置を採るべき旨乙に対して請求したとき、又は同法第7条に基づき、公正取引委員会が乙に対して勧告したとき。

(8) 前各号に掲げる場合のほか、乙が、監督官庁から営業の許可の取消し、停止等の処分を受け、又は乙の事業に関し、監督官庁から、指導、勧告、命令その他の行政指導を受けたとき。

- (9) 前各号に掲げる場合のほか、この契約条項の一つにでも違反したとき。
- 3 甲は、前項の規定によるほか、必要があるときは、この契約を解除することができる。
- 4 乙は、第2項各号のいずれかに該当したときは、速やかに甲に報告しなければならない。
- 5 乙は、第1項及び第2項の規定による契約の解除により損害が生じた場合であっても、甲に損害賠償請求をすることができない。

(反社会的勢力の排除)

第34条 乙は、甲に対し、次の各号の事項を確約する。

- (1) 自らが、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、政治活動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者（以下総称して「反社会的勢力」という。）ではないこと。
- (2) 反社会的勢力と次の関係を有していないこと。
- ア 自ら若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって反社会的勢力を利用していると認められる関係
- イ 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど反社会的勢力の維持、運営に協力し、又は関与している関係
- ウ 反社会的勢力が経営を支配していると認められる関係
- エ 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められる関係
- (3) 自らの役員（取締役、執行役、執行役員、監査役、会計参与、理事、監事、相談役、会長その他名称の如何を問わず、経営に実質的に関与している者をいう。）が反社会的勢力ではないこと、及び反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していないこと。
- (4) 反社会的勢力に自己の名義を利用させ、この契約を締結するものでないこと。
- (5) 自ら又は第三者を利用してこの契約に関して次の行為をしないこと。
- ア 暴力的な要求行為
- イ 法的な責任を超えた不当な要求行為
- ウ 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
- エ 風説を流布し、偽計又は威力を用いて相手方の業務を妨害し、又は信用を毀損する行為
- オ この契約に係る資材又は原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方が反社会的勢力に該当することを知りながら、その相手方と契約を締結したと認められる行為
- カ この契約に関して、反社会的勢力を資材又は原材料の購入契約その他の契約の相手方としていた場合（オに該当する場合を除く。）であって、甲から当該契約の解除を求められたにもかかわらず、これに従わない行為

キ その他アからカに準ずる行為

2 乙について、次の各号のいずれかに該当した場合には、甲は、何らの催告を要せずして、この契約を解除することができる。

- (1) 前項第1号から第3号の確約に反したことが判明した場合
- (2) 前項第4号の確約に反し契約をしたことが判明した場合
- (3) 前項第5号の確約に反した行為をした場合

3 前項の規定によりこの契約が解除された場合には、乙は、甲に対し、甲の被った損害を賠償するものとする。

4 乙は、第2項の規定による契約の解除により損害が生じた場合であっても、甲に損害賠償請求をすることができない。

(談合その他不正行為による解除)

第35条 甲は、乙がこの契約に関し次の各号のいずれかに該当する場合は、催告をすることなく、この契約を解除することができる。

- (1) 公正取引委員会が、乙に違反行為があったとして私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第49条に規定する排除措置命令又は独占禁止法第62条第1項に規定する納付命令が確定したとき（独占禁止法第77条の規定により当該処分取消しの訴えが提起された場合を除く。）。
- (2) 乙が独占禁止法第77条の規定により前号の処分取消しの訴えを提起し、当該訴えについて棄却又は却下の判決が確定したとき。
- (3) 乙（乙が法人の場合にあっては、その役員又は使用人）について刑法（明治40年法律第45号）第96条の6又は同法第198条の規定による刑が確定したとき。

2 乙は、前項の規定による契約の解除により損害が生じた場合であっても、甲に損害賠償請求をすることができない。

(解除に伴う措置)

第36条 乙は、甲が第33条第1項若しくは第2項又は第35条の規定により契約を解除した場合、業務の履行の前後にかかわらず、契約単価に予定数量を乗じた額の10分の1に相当する額の違約金を甲の指定する期間内に支払わなければならない。

2 第2条第1項の規定により契約保証金の納付又はこれに代わる担保の提供が行われているときは、甲は、当該契約保証金又は担保をもって違約金に充当することができる。

3 第1項の規定は、甲に生じた損害の額が同項の違約金の額を超える場合において、その超える分につき甲が乙に請求することを妨げるものではない。

(賠償額の予定)

第37条 乙は、この契約に関して第35条第1項各号のいずれかに該当するときは、業務の履行の前後及び甲が契約を解除するか否かにかかわらず、契約単価に予定数量を乗じた

額の10分の2に相当する額の賠償金を支払わなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、賠償金の支払を免除する。なお、この契約が終了した後も同様とする。

(1) 第35条第1項第1号及び第2号に掲げる場合において、処分の対象となる行為が、独占禁止法第2条第9項に基づく不公正な取引方法（昭和57年6月18日公正取引委員会告示第15号）第6項で規定する不当廉売に該当する場合その他甲が特に認めるとき。

(2) 第35条第1項第3号に掲げる場合において、刑法第198条の規定による刑が確定したとき。

2 前項の規定は、甲に生じた損害の額が同項の賠償金の額を超える場合において、その超える分につき甲が乙に請求することを妨げるものではない。

3 前2項の場合において、乙が共同企業体、コンソーシアム等であり、既に解散されているときは、甲は、乙の代表者であった者又は構成員であった者に賠償金の支払を請求することができる。この場合において、乙の代表者であった者及び構成員であった者は、共同連帯して前2項の額を甲に支払わなければならない。

(乙の解除権)

第38条 乙は、甲の責めに帰すべき事由又は災害その他のやむを得ない事由により契約の履行をすることができなくなったときは、甲にこの契約の変更若しくは解除又は履行の中止の申出をすることができる。

2 甲は、前項の規定による申出があったときは、契約を変更し、若しくは解除し、又は契約の履行を中止することができる。

3 乙は、甲の責めに帰すべき事由による契約の解除によって損害が生じたときは、甲に損害賠償の請求をすることができる。

(危険負担)

第39条 成果物の引渡し前に生じた成果物の滅失、損傷等については、乙が危険を負担する。

2 第25条の検査に合格する前（成果物の引渡しを伴う場合は、第26条の引渡しの前）に生じた災害その他の甲乙いずれの責めにも帰することができない事由によって業務が履行できなくなったときは、甲は、この契約を解除することができる。この場合において、甲は、委託料の支払を拒むことができる。

(運搬責任)

第40条 この契約の履行に関し、原始資料等及び納入すべき成果物の運搬は、乙の責任で行うものとする。

(費用の負担)

第41条 この契約の締結に要する費用並びに原始資料等及び納入すべき成果物の運搬その

他この契約を履行するために要する全ての費用は、この契約又は仕様書等に特別の定めがある場合を除き、全て乙の負担とする。

(反社会的勢力からの不当介入等に対する措置)

第42条 乙は、この契約の履行に当たり反社会的勢力から不当な介入（契約の適正な履行を妨げることをいう。）又は不当な要求（事実関係及び社会通念に照らして合理的な事由が認められない不当又は違法な要求をいう。）（以下これらを「不当介入等」という。）を受けたときは、直ちに甲に報告するとともに警察に届け出なければならない。

2 甲は、乙が不当介入等を受けたことによりこの契約の履行について遅延が発生するおそれがあると認めるときは、甲乙協議の上、履行期限の延長その他の措置をとるものとする

(疑義の決定)

第43条 この契約に関し疑義が生じたとき又はこの契約に定めのない事項については、甲乙協議の上で決定するものとする。

別記

情報セキュリティに関する要求事項

(目的)

第1条 情報セキュリティに関する要求事項（以下「本要求事項」という）は、甲の情報セキュリティ対策を徹底するために、新潟市情報セキュリティポリシーに基づき、乙が遵守すべき行為及び判断等の基準を規定する。

(用語の定義)

第2条 本要求事項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号のとおり新潟市情報セキュリティポリシーに定めるところによる。

(1) 情報資産

次の各号を情報資産という。

ア 情報ネットワークと情報システムの開発と運用に係る全ての情報及び情報ネットワークと情報システムで取り扱う全ての情報（以下「情報等」という。）

イ アの情報等が記録された紙等の有体物及び電磁的記録媒体（以下「媒体等」という。）

ウ 情報ネットワーク及び情報システム（以下「情報システム等」という。）

(2) コンピュータウイルス

第三者のコンピュータのプログラム又はデータに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムのことであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能のいずれか一つ以上を有するものをいう。

(3) 一般管理区域

施設内において職員が執務を行う区域を指し、市民等の来庁者が使用する区域は含まない。

(4) 情報セキュリティ管理区域

庁内ネットワークの基幹機器及び情報システムのサーバ等を設置し、当該機器及びサーバ等に関する重要な情報資産の管理及び運用を行うため、情報セキュリティ上、特に保護管理する区域を指す。

(情報資産の適正管理)

第3条 乙は、甲から情報資産の提供等を受けた場合、その情報資産を適正に管理しなければならない。

(情報資産の適正使用)

第4条 乙は、甲から情報資産の提供等を受けた場合、その情報資産について、業務の範囲を超えて使用することがないよう、適正に使用しなければならない。

(情報資産の適正保管)

第5条 乙は、甲から情報資産の提供等を受けた場合、その情報資産について、不正なアク

セスや改ざん等が行われないように適正に保管しなければならない。

(情報資産の持ち出し・配布)

第6条 乙は、甲から情報資産の提供等を受けた場合、甲が承諾した場合を除き、その情報資産を、提供等を受けた部署以外に提供してはならない。

2 乙は、甲から提供等を受けた情報資産を搬送する場合、不正なアクセスや改ざん等から保護すると同時に、紛失等が発生しないよう十分に注意して取り扱わなければならない。

3 乙は、甲から提供等を受けた情報資産のうち、特に重要な情報資産を搬送する場合、暗号化等の措置をとるものとし、暗号化に用いた暗号鍵は厳格な管理を行わなければならない。

4 乙は、甲から提供等を受けた情報資産を甲の庁舎外（出先機関を含む新潟市庁舎の外部のことをいう。以下同じ）へ持ち出す必要がある場合、事前に甲の許可を受けなければならない。この場合、日時及び持ち出し先を明確にしなければならない。

(情報資産の持ち込み)

第7条 乙は、業務上必要としない情報資産を甲の庁舎内（出先機関を含む新潟市庁舎の内部のことをいう。以下同じ）へ持ち込んではならない。

2 乙は、情報資産を甲の庁舎内へ持ち込む場合は、事前に甲の許可を得なければならない。また、その際には、持ち込み日時及び責任者等を明確にしなければならない。

(情報資産の廃棄)

第8条 乙は、第2条第1項第1号イに掲げる情報資産の廃棄、賃貸借期間満了時の返却及び故障時の交換（以下「廃棄等」という）をする場合、事前に甲の許可を受けなければならない。

2 前項の廃棄等の方法は、総行情第77号「情報システム機器の廃棄時におけるセキュリティの確保について」（令和2年5月22日総務省自治行政局地域情報政策室長）の例により情報を復元できないように措置を講じなければならない。

3 乙は、前項の措置を講じる場合は、廃棄等の日時、作業事業者名、作業責任者名、処分方法及びシリアルナンバー等処分機器が特定できる情報等を明確にし、その廃棄等の内容を証するものを作成し、甲に提出しなければならない。

(機器の管理)

第9条 乙は、システムの開発や運用に必要となるコンピュータ等を甲の庁舎内に持ち込む場合は、コンピュータ等に管理番号シールを貼り付ける等により所掌を明らかにしなければならない。

2 乙は、コンピュータ等を甲の庁内ネットワークに接続する際には、事前に甲の許可を受けなければならない。

3 乙は、乙の作業従事者が所有するコンピュータ等を、甲の庁内ネットワークに接続してはならない。

(機器の持ち出し)

第10条 乙は、一旦甲の庁舎内に持ち込んだコンピュータ等を、甲の庁舎外に持ち出す場合は、事前に甲の許可を得なければならない。

2 乙は、許可を受けてコンピュータ等を甲の庁舎外に持ち出す場合、業務に必要な情報以外を持ち出してはならない。

3 乙は、委託業務の終了等に伴い、甲の庁舎内に持ち込んだコンピュータ等を撤収する場合についても、第8条と同様とする。

(機器の持ち込み)

第11条 乙は、業務上必要としないコンピュータ及び周辺機器（以下「コンピュータ等」という）を甲の庁舎内へ持ち込んで서는ならない。

2 乙は、コンピュータ等を甲の庁舎内へ持ち込む場合は、事前に甲の許可を得なければならない。また、その際には、持ち込み日時及び責任者等を明確にしなければならない。

(機器の廃棄)

第12条 乙は、甲の庁舎内に持ち込んだコンピュータ等を廃棄する場合についても、第8条と同様とする。

(コンピュータウイルス対策)

第13条 乙は、コンピュータウイルスの感染を防止するため、必要に応じて対策ソフトによるウイルス検査を行わなければならない。このとき、電磁的記録媒体を使用してファイルを持ち出し及び持ち込む際には、特に注意してウイルス検査を行わなければならない。

(開発環境)

第14条 乙は、情報システムの開発又はテストにおいて開発環境と本番環境を切り分けるものとする。ただし、開発作業による本番環境への影響が少ない場合で、甲が特に指示した場合は、この限りではない。

(試験データの取扱)

第15条 乙は、システム開発又はテストにおいて本番データを使用する際には、事前に甲の許可を得なければならない。

(一般管理区域及び情報セキュリティ管理区域における入退室)

第16条 乙は、一般管理区域及び情報セキュリティ管理区域（以下「一般管理区域等」という）に入室する際及び入室中には、名札を着用しなければならない。

2 乙は、特別な理由がない限り、一般管理区域等を擁する施設の最終退出者となってはならない。

(搬入出物の管理)

第17条 乙は、一般管理区域等における、不審な物品等の持ち込み、機器故障又は災害発生を助長する物品等の持ち込みや、機器・情報の不正な持ち出しを行ってはならない。

2 乙は、情報セキュリティ管理区域における搬入出物を、業務に必要なものに限定しな

ればならない。

(作業体制)

第18条 乙は、甲に作業従事者名簿を提出し、責任者及び作業従事者を明確にしなければならない。

(報告書・記録等の提出)

第19条 乙は、委託業務に関する作業、情報セキュリティ対策の実施状況及び特定個人情報に係る安全管理措置の遵守状況について、甲に対し報告書を提出しなければならない。

2 乙は、甲の庁内ネットワーク及び甲が所掌する情報システムを使用してこの契約を履行する場合、甲に対し情報システムの使用記録及び障害記録を提出しなければならない。

(情報資産の授受)

第20条 乙は、甲と情報資産の授受を行う場合は、甲が指定する管理保護策を実施しなければならない。

(教育・訓練への参加の義務)

第21条 乙は、甲が指示する情報セキュリティ教育及び訓練に参加し、甲が定める情報セキュリティポリシー等を理解し、情報セキュリティ対策を維持・向上させなければならない。

(検査・指導)

第22条 乙は、甲が乙の情報セキュリティ対策の実施状況及び特定個人情報に係る安全管理措置の遵守状況を検査・指導する場合は、検査に協力するとともに指導に従わなければならない。

2 乙は、甲の庁舎外で委託業務を行う場合は、甲の情報セキュリティ水準と同等以上の水準を確保するとともに、その管理体制を甲に対し明確にしなければならない。

(事故報告)

第23条 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

(指示)

第24条 甲は、乙がこの契約による業務を処理するために実施している情報セキュリティ対策について、その内容が不相当と認められるときは、乙に対して必要な指示を行うことができる。

(契約解除及び損害賠償)

第25条 甲は、乙が本要求事項の内容に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

(疑義等の決定)

第26条 本要求事項について疑義が生じたとき又は本要求事項に定めのない事項については、甲乙協議の上で決定する。

別記

個人情報取扱特記事項

（基本的事項）

第1条 乙は、この契約を履行するに当たり、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報（個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第2条第1項に規定されるものをいう。以下同じ。）の保護の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法令及び新潟市保有個人情報の適切な管理のための措置に関する要領（令和6年6月26日制定）を遵守し、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

（秘密の保持）

第2条 乙は、この契約を履行するに当たって知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

（収集の制限）

第3条 乙は、この契約の履行に当たって個人情報を収集するときは、この契約の履行に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

（適正管理）

第4条 乙は、この契約を履行するに当たって知り得た個人情報の漏えい、滅失及び毀損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 乙は、この契約を履行するに当たり、個人情報の管理責任者を選任し、事務従事者の管理体制等必要事項について、甲へ書面で報告しなければならない。

（利用及び提供の制限）

第5条 乙は、甲の指示がある場合を除き、この契約を履行するに当たって知り得た個人情報を契約の目的以外の目的に利用し、又は甲の承諾なしに第三者に提供してはならない。

（複写又は複製の禁止）

第6条 乙は、この契約の履行に当たって甲から引き渡された個人情報が記録された資料等を甲の承諾なしに複写し、又は複製してはならない。

（再委託の禁止）

第7条 乙は、この契約による業務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、甲が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

（資料等の返還等）

第8条 乙は、この契約の履行に当たって甲から引き渡され、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この契約終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

（従事者への周知）

第9条 乙は、この契約の履行に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その業務に関して知ることのできた個人情報を他に漏らしてはならないこと、又は契約の目

的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

(実地調査)

第10条 甲は、必要があると認めるときは、乙がこの契約の履行に当たり、取り扱っている個人情報の状況について随時実地に調査することができる。

(事故報告)

第11条 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

(指示)

第12条 甲は、乙がこの契約の履行に当たって取り扱っている個人情報について、その取扱いが不相当と認められるときは、乙に対して必要な指示を行うことができる。

(契約解除及び損害賠償)

第13条 甲は、乙がこの個人情報取扱特記事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

別記

賃金の変動に基づく契約金額の変更に係る特約条項

第1条 委託者又は受託者は、履行期間内で履行期間開始の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準の変動により契約金額が不相当となったと認めたときは、相手方に対して契約金額の変更を請求することができる。第1条 乙は、この契約を履行するに当たり、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報（個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第2条第1項に規定されるものをいう。以下同じ。）の保護の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法令及び新潟市保有個人情報の適切な管理のための措置に関する要領（令和6年6月26日制定）を遵守し、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

2 委託者又は受託者は、前項の規定による請求があったときは、変動前未履行分契約金額（契約金額から当該請求時の既履行部分に相当する契約金額を控除した額をいう。以下この条において同じ。）と変動後未履行分契約金額（直接人件費に相当する額を変動後の賃金を基礎として算出した当該額に置き換えた変動前未履行分契約金額に相応する額をいう。以下この条において同じ。）との差額のうち変動前未履行分契約金額の100分の1を超える額につき、契約金額のスライド変更に応じなければならない。

3 スライド額は、請求のあった日を基準とし、賃金水準の変動率に基づき委託者と受託者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、委託者が定め、受託者に通知する。

4 第1項の規定による請求は、この条の規定により契約金額の変更を行った後再度行うことができる。この場合においては、同項中、「履行期間開始の日」を、「直前のこの条に基づく契約金額変更の基準とした日」と読み替えるものとする。

5 第3項の協議開始の日については、委託者が受託者の意見を聴いて定め、受託者に通知しなければならない。ただし、委託者が第1項の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受託者は、協議開始の日を定め、委託者に通知することができる。

一般競争入札参加申請書

令和 7 年 月 日

(宛先) 新潟市長

申請者
郵便番号
所在地
商号又は名称
代表者氏名

(押印不要)

下記入札の参加資格要件を満たしており、入札に参加したいので、新潟市物品に関する一般競争入札実施要綱第 5 条第 1 項の規定により申請します。

記

項 目		摘 要
入 札 公 告 年 月 日		令和 7 年 10 月 31 日
案 件 番 号		新潟市契約公告第 87 号
業 務 委 託 名		新潟市確定申告書等データエントリー業務委託
競争入札参加資格者 名 簿 へ の 登 録		<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 申請中 業者コード：_____
プライバシーマーク、 I S M S の 認 証 登 録 番 号		プライバシーマーク
		I S M S
連絡先	担 当 者	
	電 話	
	メ ー ル	

秘密保持誓約書

_____（以下「乙」という。）は、「新潟市確定申告書等データエントリー業務（以下「本件」という。）」の秘密保持に関し新潟市（以下「甲」という。）に対し次のとおり誓約します。

（目的）

第1条 この秘密保持誓約書（以下「本誓約」という。）は、甲が本件において開示した情報の秘密保持について誓約するものです。

（秘密情報）

第2条 本誓約において秘密情報とは、甲から乙に対して明確に秘密と指定されて開示される本件の仕様書等の情報で、公には入手できない情報とします。

（適用除外）

第3条 前条にかかわらず、本誓約に関して次の各号に該当する情報は秘密情報に含まれないものとします。

- （1）乙が甲から開示を受けた時点で既に所有していた又は公知の情報
- （2）乙が甲から開示を受けた後、乙の責によらず公知となった情報
- （3）乙が第三者から秘密保持義務を負うことなく正当に入手した情報
- （4）法令又は裁判所若しくは行政機関からの命令により提出を求められた情報

（秘密保持）

第4条 乙は、甲から開示された秘密情報を第三者に対して開示又は漏洩しません。

また、第三者への秘密情報の開示が真に必要な場合は、乙はあらかじめ甲の書面による承諾を得ることとします。

（目的外使用の禁止）

第5条 乙は、秘密情報を本件のため必要な限りにおいて利用できるものとし、本件以外の目的には一切使用又は利用しません。

（情報の返還）

第6条 乙は、本件の履行完了後、甲から開示・提供を受けた秘密情報（甲の事前の承諾を得て作成した複製物を含む）を直ちに返還します。ただし、甲から別途廃棄等の指示を受けた場合は、その指示に従います。

（損害賠償）

第7条 乙が本誓約に違反して秘密情報を外部に漏洩し、又は外部に持ち出したことで甲が損害を被った場合、甲は乙に対して損害賠償を請求し、かつ甲が適当とする必要な措置を採ってもかまいません。

（協議事項）

第8条 本誓約に定めのない事項に関しては、別途甲と協議の上、円満に解決を図ります。

誓約日 令和7年 月 日

（乙）所 在 地
商号又は名称
代 表 者 氏 名

（押印不要）

質 疑 書

令和 7 年 月 日

住 所
商号又は名称
代表者氏名

(押印不要)

(担当者)
(電話番号)
(メール)

- 1 案件番号 新潟市契約公告第 87 号
- 2 業務委託名 新潟市確定申告書等データエントリー業務

質 疑 事 項

注 この質疑書は、仕様書等に対して質問（入札に必要な事項に限る）がある場合にのみ提出してください。

入 札 書

令和 年 月 日

新潟市長様

住 所

氏 名

印

受 任 者

印

新潟市契約規則及びこれに基づく入札条件を承認のうえ入札いたします。

金 額		百	千	円	
履 行 場 所		新潟市財務部市民税課の指定する場所			
品 名	品質・規格	数 量		単 価	金 額
新潟市確定申告書等 データエントリー業 務	仕様書のとおり	半角英数カナ 201,075,580 文字		円	円
		全角 2,351,400 文字		円	円

(注) 入札額は、消費税及び地方消費税を含まないものとする。
金額欄は、令和 7 年度分から令和 1 2 年度分までの総額を記入すること。

入札書

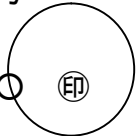
新潟市入札参加資格申請で登録している所在地、名称及び代表者を記載し、登録している「使用印」を押印。
(委任状を提出する場合は、社印・代表者印は省略できます)

令和 年 月 日

新潟市長様

代表者本人が入札する場合は記入不要。
委任する場合は、受任者名を記入し、委任状と同じ印を押印。

住所 ○○県○○市○○区○○町
○○丁目○○番地○○号
氏名 △△株式会社
代表取締役 ○○ ○○



受任者 ○○ ○○



総額(税抜)の金額を記入。
下の金額の合計と同額となること。
また、内訳書の「金額」欄の合計と同額になること。

新潟市契約規則及びこれに基づく入札条件を承認のうえ入札いたします。

金 額		¥	○	百	○	千	○	○	円	○	○	
履 行 場 所		新潟市財務部市民税課の指定する場所										
品 名	品質・規格	数 量		単 価		金 額						
新潟市確定申告書 等データエントリ 一業務	仕様書のとおり	半角英数カナ 201,075,580 文字		○○.○○円		○○○,○○○円						
		全角 2,351,400 文字		○○.○○円		○○○,○○○円						

(注) 入札額は、消費税及び地方消費税を含まないものとする。
金額欄は、令和7年度分から令和12年度分までの総額を記入すること。

入 札 金 額 内 訳 書

令和 年 月 日

新潟市長様

住 所

氏 名

印

受 任 者

印

件 名 新潟市確定申告書等データエントリー業務

	対象年度	数量 〔 上段：半角英数カナ 下段：全角 〕	金額
入札金額内訳	令和 7 年度	9,304,360 文字 38,600 文字	円
	令和 8 年度	46,730,780 文字 367,500 文字	円
	令和 9 年度	46,394,200 文字 485,800 文字	円
	令和10年度	46,155,120 文字 570,300 文字	円
	令和11年度	46,155,120 文字 570,300 文字	円
	令和12年度	6,336,000 文字 318,900 文字	円
合計			円
※入札金額に一致			

※「金額」は、全て消費税及び地方消費税に相当する額を含まない額とすること。

※「合計」は、入札書に記載した金額と一致させること。

新潟市入札参加資格申請で登録している所在地、名称及び代表者を記載し、登録している「使用印」を押印。
(委任状を提出する場合は、社印・代表者印は省略できます)

入 札 金 額 内 訳 書

令和 年 月 日

新 潟 市 長 様

住 所 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町
 〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏 名 △△株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇

受 任 者 〇〇 〇〇

代表者本人が入札する場合は記入不要。
委任する場合は、受任者名を記入し、委任状と同じ印を押印。

印

印

件 名 新潟市確定申告書等データエントリー業務

	対象年度	数量 (上段：半角英数カナ 下段：全角)	金額
入 札 金 額 内 訳	令和7年度	9,304,360 文字 38,600 文字	〇,〇〇〇, 〇〇〇円
	令和8年度	46,730,780 文字 367,500 文字	〇,〇〇〇, 〇〇〇円
	令和9年度	46,394,200 文字 485,800 文字	〇,〇〇〇, 〇〇〇円
	令和10年度	46,155,120 文字 570,300 文字	〇,〇〇〇, 〇〇〇円
	令和11年度	46,155,120 文字 570,300 文字	〇,〇〇〇, 〇〇〇円
	上の金額の合計と同額となること。 また、入札書の入札金額と同額になること。		〇,〇〇〇, 〇〇〇円
合計			〇,〇〇〇, 〇〇〇円
※入札金額に一致			

※「金額」は、全て消費税及び地方消費税に相当する額を含まない額とすること。

※「合計」は、入札書に記載した金額と一致させること。

委 任 状

令和7年 月 日

新 潟 市 長 様

私は次の者をもって，下記の入札に関する権限の一切を委任いたします。

委 任 者	住 所	
	氏 名	印
受 任 者	氏 名	印

記

件 名 新潟市確定申告書等データエントリー業務

別記様式第7号

入札辞退届

業務委託名：新潟市確定申告書等データエントリー業務

上記について、入札を辞退します。

新 潟 市 長 様

令和7年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名

印

辞退理由：